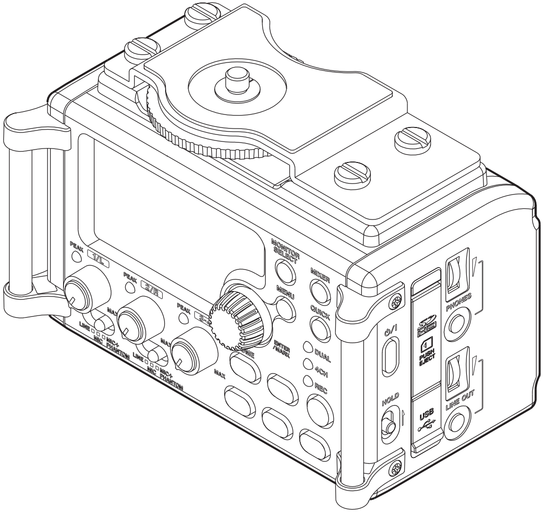
D01188701A

TASCAM

DR-60D

Linear PCM Recorder



取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
禁止	**ACアダプターのコードを傷つけない** **ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）をご依頼ください。
	別売のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。

警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止	**交流100ボルト以外の電圧で使用しない** この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運行の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
指示	**ACアダプターの電源プラグにほこりをためない** ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的(年1回くらい)にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をオフ(スタンバイ状態)にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などを破損する原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
注意	5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告 乾電池に関する警告

禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

警告 電池に関する警告

強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しくいれる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

警告 電池に関する警告

禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	金属製の小物類に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	加熱したり、火や水の中に入れない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
注意	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属のものと接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。

目次

安全にお使いいただくために 2
電池の取り扱いについて 6

クイックスタートガイド 11

第1章　はじめに 15
本機の概要 15
本製品の構成 16
本書の表記 16
商標および著作権に関して 17
SDカードについて 17
取り扱い上の注意 17
設置上の注意 18
結露について 18
製品のお手入れ 18
ユーザー登録について 18
アフターサービス 19

第2章　各部の名称と働き 20
フロントパネル 20
左サイドパネル 22
右サイドパネル 23
リアパネル 24
トップパネル 25
ボトムパネル 25
ホーム画面 26
録音画面 28
メニューの構成 30
メニューを使う 31
操作の基本 32

第3章　準備 33
電源の準備 33
電源について 33
単3形電池で使用する 33
ACアダプターで使用する（別売） 34
外付けバッテリーパックで使用する（別売） 34
USBバスパワーで使用する 35
電源をオンにする／オフ（スタンバイ状態）にする 36
電源をオンにする 36
電源をオフ（スタンバイ状態）にする 36
リジューム機能 36
日時を設定する 37
SDカードを挿入する／取り出す 38
挿入する 38
取り出す 38
SDカードのライトプロテクトスイッチについて 38
SDカードを使えるようにする 39
カメラと接続する／カメラに取り付ける 39
モニター用機器を接続する 40
モニターについて 40
モニター機能の設定 40
モニターを選択する 41

第4章　録音 42
ファイル形式／サンプリング周波数／最大ファイルサイズを設定する（REC SETTING） 42
入力の設定をする 43
マイクを接続する 43
外部機器から録音する（LINE IN） 44
入力の選択をする 44
ファントム電源について 45
プラグインパワーについて 46
入力レベルを調節する 46
リミッター機能を設定する 48
ローカットフィルターを設定する 49
録音モードについて 49

録音する（MONO ／ STEREO録音）.................. 50
録音の設定をする.................. 50
ファイルの保存先を設定する.................. 51
録音を開始する.................. 51
MONO ／ STEREO録音時のファイル名.................. 51
異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする（DUAL REC）.................. 52
デュアル録音の設定をする.................. 52
デュアル録音を開始する.................. 53
デュアル録音時のファイル名.................. 54
4チャンネルで録音する.................. 54
4チャンネル録音を設定する.................. 54
4チャンネル録音を開始する.................. 55
4チャンネル録音時のファイル名.................. 56
録音機能を自動で動作させる（AUTO REC）.................. 56
録音中にファイルを切り換えて録音を続ける（トラックインクリメント）.................. 58
録音中に手動でトラックインクリメントする.................. 58
ファイルサイズで自動的にトラックインクリメントする.................. 58
マーク機能.................. 59
録音中に手動でマークを付ける.................. 59
録音中に自動でマークを付ける.................. 59
マークの位置への移動.................. 59
録音開始の少し前から録音する（PRE REC）.................. 60
開始を遅らせて録音する（REC DELAY）.................. 60
セルフタイマー機能.................. 61
オートトーン機能を使う.................. 61
オートトーンの長さを設定する.................. 62
スレートトーンを挿入する.................. 62
録音時間について.................. 63

第5章　ファイルやフォルダーの操作（BROWSE画面）.................. 64
BROWSE画面内のナビゲーション.................. 64
BROWSE画面内のアイコン表示.................. 64
ファイル操作.................. 65
フォルダー操作.................. 66
新しいフォルダーを作る.................. 66

第6章　再生.................. 67
再生の音量を調節する.................. 67
再生範囲を設定する（AREA）.................. 67
BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（1）.................. 68
BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（2）.................. 69
再生するファイルを選択する（スキップ）.................. 69
再生する.................. 70
一時停止する.................. 70
停止する.................. 70
早戻し／早送りをする（サーチ）.................. 70
再生位置を移動する.................. 70
繰り返し再生する（REPEAT）.................. 70
再生中に数秒前に戻り再生し直す（ジャンプバック再生）.................. 71
デュアル録音したファイルの再生.................. 71

第7章　QUICKボタンの操作.................. 72
QUICKボタンの概要.................. 72
クイックメニューを呼び出す.................. 73
クイックメニューを閉じる.................. 73
選択ファイルを削除する（クイックデリート）.................. 74
選択ファイルを分割する（DIVIDE）.................. 74
音圧感を上げて聴き取りやすくする（レベルアライン機能）.................. 75
再生イコライザー機能を使う.................. 76
マイク入力ゲインをクイックメニューで設定する.................. 76

第8章　ミキサー.................. 77
ミキサーを設定する.................. 77
MSデコーダーを使用する.................. 78
入力音をデコードしながら録音する方法.................. 78
再生音をデコードする方法.................. 78

目次

MSデコーダーの設定 78

第9章　パソコンと接続する 79
パソコンへファイルを取り出す 80
パソコンからファイルを取り込む 80
パソコンとの接続を解除する 80

第10章　各種設定および情報表示 81
情報を見る（INFORMATION） 81
ファイル情報ページ（FILE） 81
カード情報ページ（CARD） 82
システム情報ページ（SYSTEM） 82
環境設定（SYSTEM） 83
電源のオートパワーセーブ機能の設定 83
バックライトの設定 83
ディスプレーのコントラスト調節 83
電池の種類の設定 83
ファントム電源の電圧値の設定 83
初期設定に戻す 84
クイックフォーマットする 84
フルフォーマットする 84
ファイル名の形式を設定する 85
ファイル名の形式 85
文字（WORD）の設定 85
数字（COUNT）の初期化設定 85

第11章　REMOTE端子を使う 86
フットスイッチを使う（TASCAM RC-3F） 86
フットスイッチを設定する 86
フットスイッチを使う 87
リモコンを使う（TASCAM RC-10） 87
リモコンを設定する 87
リモコンを使う 87

第12章　メッセージ 88

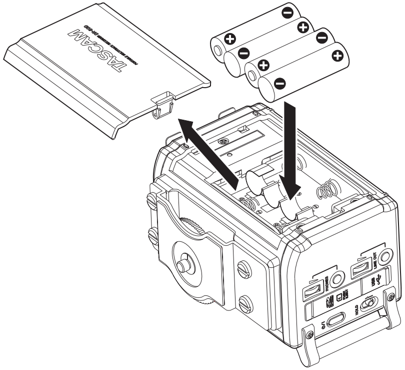
第13章　トラブルシューティング 91

第14章　仕様 92
定格 92
入出力定格 92
アナログオーディオ入出力定格 92
コントロール入出力定格 93
オーディオ性能 93
接続するパソコンの動作条件 93
一般 94
寸法図 95

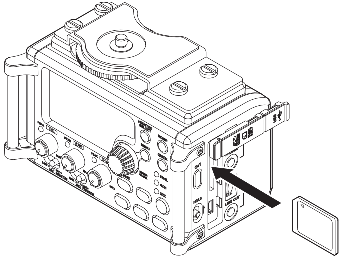
クイックスタートガイド

本機を使って、録音と再生をしてみましょう。また、デジタル一眼レフカメラと接続してみましょう。
工場出荷時の録音形式は、WAV形式16ビット・44.1kHzに設定されています。
録音形式を変更すると、より高音質で録音することができます。詳しくは、42ページ「ファイル形式／サンプリング周波数／最大ファイルサイズを設定する（REC SETTING）」をご参照ください。

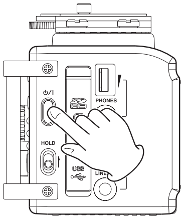
1. 本機のリアパネルの電池ケースに電池を入れます。電池ケース内の⊕と⊖表示に合わせて電池をセットしてください。

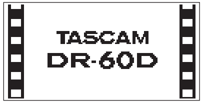


2. 本機の右サイドパネルのSDカードスロットにSDカードを挿入します。



3. 本機の右サイドパネルの **⏻/I** ボタンを長押しし、**"TASCAM DR-60D"**（起動画面）が表示されたら離します。

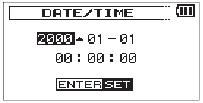




[起動画面]

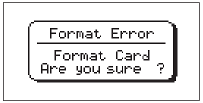
注意

お買い上げ後、最初に電源を入れたときには、内蔵時計を設定するための画面が表示されます。（ → 37ページ「日時を設定する」）

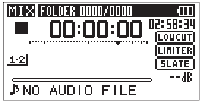


⏮ボタンまたは⏭ボタンを押してカーソル（反転表示部）を移動し、**DATA**ダイヤルを回して日付と時刻を合わせます。
設定が完了したら、**DATA**ダイヤルを押して確定します。

4. 新しいカード、または本機以外でフォーマットされたカードを挿入したとき、以下のような確認のポップアップメッセージが表示されます。（ → 39ページ「SDカードを使えるようにする」）



DATAダイヤルを押して、本機でカードが使えるようにフォーマットを実行します。
フォーマットが完了すると、ディスプレーに以下の画面（ホーム画面）が表示されます。

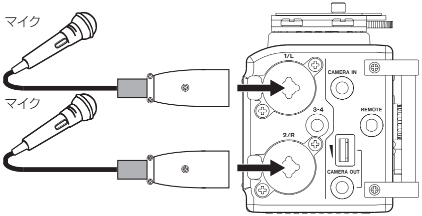


[ホーム画面]

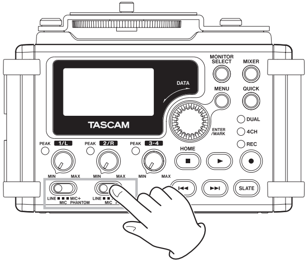
注意

- フォーマットを行うと、SDカード上のデータは全て消去されます。
- フォーマットは、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で供給しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

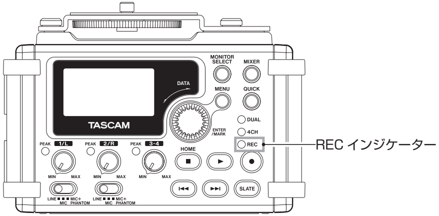
5. 本機の左サイドパネルの**1/L**端子および**2/R**端子にマイクを接続します。



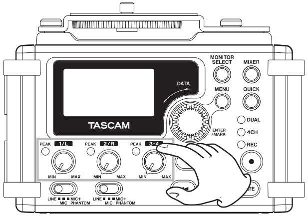
6. フロントパネルの**1/L**または**2/R**の入力切り換えスイッチを、「**MIC**」または「**MIC+PHANTOM**」に選択します。詳しくは、44ページ「入力の選択をする」を参照してください。



7. **録音(●)**ボタンを押すと、録音待機状態になります。
このとき、**REC**インジケーターが点滅します。



8.フロントパネルの**1/L**つまみおよび**2/R**つまみを使って入力レベルを設定します。詳しくは、46ページ「入力レベルを調節する」を参照してください。



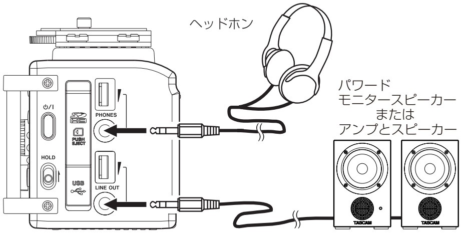
9. **録音(●)**ボタンを押すと、録音が始まります。
録音中は、**REC**インジケーターが点灯します。

10. 録音を終了するには、**停止(■)[HOME]** ボタンを押します。

メモ

録音中に再度**録音(●)**ボタンを押すことで録音を一時停止し、**録音(●)**ボタンを押すと同じファイルに録音を再開することができます。

11. **再生(►)**ボタンを押すと、今録音したものが再生されます。
ヘッドホンで聴く場合は右サイドパネルの**PHONES**端子、外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は**LINE OUT**端子に機器を接続します。（ → 40ページ「モニター用機器を接続する」）



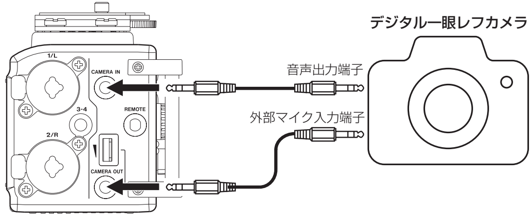
12. 再生音量の調節は、**PHONES**ボリュームまたは**LINE OUT**ボリュームを使って行います。

13. 再生を停止するには、**停止(■)[HOME]** ボタンを押します。

メモ

録音を複数回行った場合は、ホーム画面で停止中または再生中に、**⏮**ボタンまたは**⏭**ボタンを使って再生するファイルを選択します。

14. 本機とデジタル一眼レフカメラを接続して本機の音声をカメラに出力したり、カメラからの音声を本機でモニターできるようにします。（ → 39ページ「カメラと接続する／カメラに取り付ける」）
接続は、市販のφ3.5mmステレオミニプラグケーブルを使用してください。
本機の音声をカメラで録音したい場合には、左サイドパネルの**CAMERA OUT**端子とカメラの外部マイク入力端子に接続します。
カメラからの音声を本機に入力してヘッドホンからモニターしたい場合には、左サイドパネルの**CAMERA IN**端子とカメラの音声出力端子を接続します。



メモ

カメラ側の接続端子に関しては、カメラの取扱説明書をご覧ください。

15. 左サイドパネルの**CAMERA OUT**ボリュームを使って、カメラに出力される音量を調整します。

16. カメラからの音声を本機に入力してヘッドホンからモニターするには、**"REC SETTING"**画面内の**"MONITOR"**項目でモニター機能をオンにします。（ → 40ページ「モニター機能の設定」）

17. ホーム画面で、停止中／一時停止中／録音待機中／録音中に**MONITOR SELECT**ボタンを押して、モニター音を選択するメニューをポップアップ表示し、**DATA**ダイヤルを回して**"CAMERA IN"**を選択します。（ → 41ページ「モニターを選択する」）

このたびは、TASCAM Linear PCM Recoder DR-60Dをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）からダウンロードすることができます。

本機の概要

本機は、デジタル一眼レフカメラでの動画撮影現場に、高品質な録音環境を提供するデジタル一眼レフカメラに適したオーディオ入出力と機能を搭載したレコーダです。

- 記録メディアにSD ／ SDHCカードを採用したコンパクトサイズのオーディオレコーダー
- TASCAM独自のHDDA（High Definition Discrete Architecture）マイクプリアンプ搭載による高音質録音
- 通常の2トラックステレオ録音に加えて、同時に最大4チャンネルの録音が可能
- 4チャンネルをステレオミックスして出力可能
- 1/L、2/R、3-4入力は、それぞれ独立した録音レベル調整が可能
- 異なるレベルで２系統の録音を同時に行うことができるデュアル録音機能を搭載
- 44.1k/48k/96kHz、16/24ビットのリニアPCM（WAV形式）録音が可能
- WAV録音形式としてBWF（Broadcast Wave Format）に対応
- ファントム電源付XLRマイク（+24V、+48V）／ LINE入力、TRSマイク／ LINE入力を装備（排他使用）
LINE入力時は+24dBu入力対応
- プラグインパワーマイク用電源対応のスレテオミニジャック入力を装備ビデオマイクなどの高出力マイク入力対応（最大入力レベル+10dBV）
- 編集時、動画ファイルとの同期に便利な、スレートトーン挿入機能（自動／マニュアル）
- 本機からの高音質な音声をデジタル一眼レフカメラで録音可能にするカメラ出力端子を装備
- デジタル一眼レフカメラからの音声を本機でモニターするときに便利なカメラ入力端子を装備
- 音声の入力レベルを感知して、自動で録音の開始が行えるオートレック機能
- MSマイクに対応したデコード機能を搭載
- 指定したレベルで自動的に録音を開始／終了できるオートレック機能
- 録音を継続したまま、あらかじめ設定した最大ファイルサイズによって、自動的に新たなファイルに記録を開始することが可能
- 状態に応じて、必要な機能にすばやくアクセスするためのクイックボタン搭載
- 録音を継続したまま、任意の位置でファイルを更新できるトラックインクリメント機能
- 録音開始2秒前からの音を録音できるプリレック機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、その部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利なローカットフィルター
- 指定時間後に録音を開始するセルフタイマー機能
- 再生中にボタンのワンプッシュで数秒前に戻って再生しなおすジャンプバック再生機能
- 2系統の入力の距離差を解消するディレイ機能
- 任意の位置でファイルを分割するディバイド機能
- 特定の位置への移動に役立つマーク機能
- 再生イコライザー機能および、再生全体の音圧感を上げるレベルアライン機能

- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 電源をオフ（スタンバイ状態）にする前の再生位置を記憶しておくリジューム機能
- φ3.5mm（1/8”）ライン出力／ヘッドホン出力端子
- 128 x 64のバックライト付ドットマトリックスタイプLCD
- Mini-B タイプUSB 2.0端子
- 単3形電池4本、ACアダプター（別売：TASCAM PS-P515U）、外付けバッテリーパック（別売：TASCAM BP-6AA）またはUSBバスパワー供給
- 三脚取り付け穴（ボトム）と コインで脱着可能なデジタル一眼レフカメラ設置用スクリューアタッチメント（トップ）を装備
- 専用リモコン端子を装備（別売のRC-10、RC-3Fに対応）
- 誤動作を防止するHOLD SWを装備
- 操作面の保護とショルダーベルト取り付け機能を兼ね備えたハンドルを前面左右に装備

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカムカスタマーサポート（裏表紙に記載）までご連絡ください。

- 本体　x1
- USBケーブル　x1
- 保証書　x1
- 取扱説明書（本書）x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**MENU**ボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を **“ON”** のように **“__”** で括って表記します。
- 「SD/SDHCメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレー上に表示される文字を《DR-60D》のように《__》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDHCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。

- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、および Windows 8 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、iMac、Mac OS および Mac OS X は、Apple Inc. の商標です。
- Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

**第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。**

SDカードについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。
使用できるカードは、64MB ~ 2GBのSDカード、および4GB ~ 32GBのSDHCカードです。
TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポート（裏表紙に記載）までお問い合わせください。

取り扱い上の注意

SDカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏0度〜40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
  - 直接雨などの水が当たる場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1〜2時間放置したあと、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

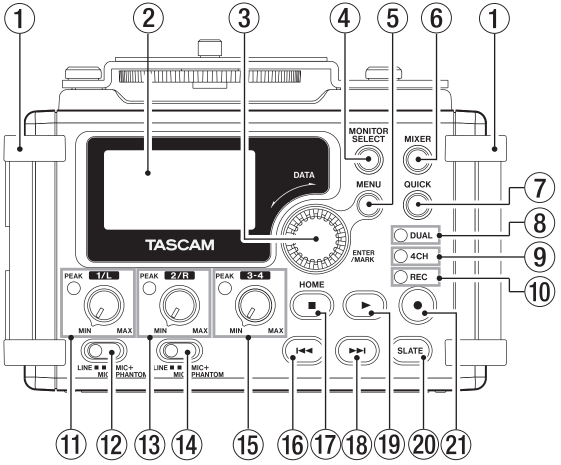
ユーザー登録について

ユーザー登録については、裏表紙をご覧ください。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センター（裏表紙に記載）が修理いたします。その他の詳細については保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
    - 型名、型番（DR-60D）
    - 製造番号（Serial No.）
    - 故障の症状（できるだけ詳しく）
    - お買い上げ年月日
    - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル



① ハンドル

ストラップなどを取り付けることができます。

② ディスプレー

各種情報を表示します。

③ DATAダイヤル（ENTER/MARK）

このダイヤルを回して、各種設定画面での項目の選択や値の変更を行います。また、ファイルの再生位置の移動にも使用します。

このダイヤルを押して、各種設定画面で選択されている項目を決定したり、確認のポップアップメッセージに対して「YES」と答えるときに使います。

録音中にこのダイヤルを押すと、手動でマークを付けることができます。（ → 59ページ「録音中に手動でマークを付ける」）

このダイヤルを押しながら、⏮ボタンを押すと前のマークに、⏭ボタン押すと次のマークへ移動します。（ → 59ページ「マークの位置への移動」）

④ MONITOR SELECTボタン

再生時以外にこのボタンを押すと、モニター音を選択するメニューをポップアップ表示します。

デュアル録音されたファイルを再生中にこのボタンを押すと、再生されるファイルを切り換えます。

⑤ MENUボタン

ホーム画面または **“MIXER”** 画面表示中にこのボタンを押すと、**“MENU”** 画面が表示されます。

各種設定画面表示中に押すとメニュー階層を一段階戻り、**“MENU”** 画面表示中に押すとホーム画面に戻ります。

⑥ MIXERボタン

このボタンを押すと、**“MIXER”** 画面を表示します。

“MIXER” 画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

⑦ QUICKボタン

ホーム画面、**"BROWSE"**画面および**"MIXER"**画面を表示中にこのボタンを押すと、クイックメニューをポップアップ表示します。

このボタンを押したときの本機の状態で、表示される機能が異なります。

本機の状態	表示される機能
停止中	現在の再生ファイルの削除・分割、レベルアライン機能、再生イコライザー機能、マイク入力ゲインの切り換え機能
再生中	レベルアライン機能、再生イコライザー機能
録音待機中	マイク入力ゲインの切り換え機能
録音中	
"MIXER" 画面表示中	マイク入力ゲインの切り換え機能
"BROWSE" 画面表示中	ファイル／フォルダー操作

⑧ DUALインジケーター

デュアル録音モードで録音中に、橙色に点灯します。

⑨ 4CHインジケーター

4チャンネル録音モードで録音中に、橙色に点灯します。

⑩ RECインジケーター

録音待機中はインジケーターが点滅、録音中はインジケーターが赤色に点灯します。

⑪ 1/Lつまみ／ PEAKインジケーター

1/Lつまみを使って、左サイドパネルの1/L端子からの入力レベルを調節します。

入力レベルが大きくなって歪む直前になると、1/LのPEAKインジケーターが点灯します。マイク入力時は、アナログ回路で歪んだ場合にも点灯します。ライン入力時は、アナログ回路で歪んだ場合でも点灯しません。（ → 46ページ「入力レベルを調節する」）

⑫ 入力切り換えスイッチ（1/L）

1/L端子の入力ソースの切り換えと、ファントム電源のオン／オフを選択します。

⑬ 2/Rつまみ／ PEAKインジケーター

2/Rつまみを使って、左サイドパネルの2/R端子からの入力レベルを調節します。

入力レベルが大きくなって歪む直前になると、2/RのPEAKインジケーターが点灯します。マイク入力時はアナログ回路で歪んだ場合にも点灯します。ライン入力時はアナログ回路で歪んだ場合でも点灯しません。

（ → 46ページ「入力レベルを調節する」）

⑭ 入力切り換えスイッチ（2/R）

2/R端子の入力ソースの切り換えと、ファントム電源のオン／オフを選択します。

⑮ 3-4つまみ／ PEAKインジケーター

3-4つまみを使って、左サイドパネルの3/4端子からの入力レベルを調節します。

入力レベルが大きくなって歪む直前になると、3-4のPEAKインジケーターが点灯します。

⑯ ⏮ ボタン

再生中、またはファイルの途中で停止しているときにこのボタンを押すと、再生ファイルの先頭に戻ります。

ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。

押し続けると、早戻しサーチを行います。

DATAダイヤルを押しながらこのボタンを押すと、前のマークに移動します。

各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを左に移動します。

"BROWSE"画面では、階層を戻ります。

⑰ 停止(■)[HOME] ボタン

再生中にこのボタンを押すと、その位置で再生を停止します（一時停止）。一時停止中にこのボタンを押すと、その再生ファイルの先頭に戻ります。

録音待機中または録音中にこのボタンを押すと、録音を停止します。

各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。また、各種設定画面の操作では、確認のポップアップメッセージに対して「NO」と答えるときに使います。

⑱ ►►I ボタン

停止中または再生中にこのボタンを押すと、次のファイルにスキップします。

押し続けると、早送りサーチを行います。

各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを右に移動します。

DATAダイヤルを押しながらこのボタンを押すと、次のマークに移動します。

"BROWSE" 画面では、階層を進みます。ファイルが選択されているときは、ファイルをロードしてホーム画面に戻り停止します。

⑲ 再生(►)ボタン

ホーム画面で停止中に押すと、再生を始めます。

再生中に押すと､ジャンプバック再生を行います。(→ 71ページ「再生中に数秒前に戻り再生し直す（ジャンプバック再生)」)

"BROWSE" 画面で、ファイルまたはフォルダーを選択した状態でこのボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのファイルまたはフォルダーの最初から再生します。

⑳ SLATEボタン

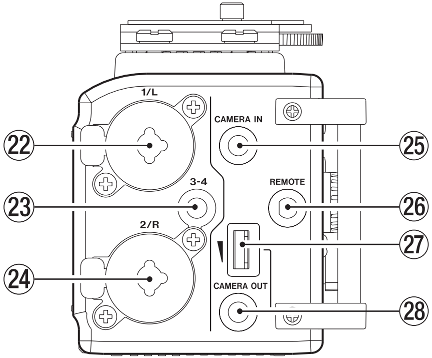
録音中にこのボタンを長押しすると､スレートトーンが録音されます。(→ 62ページ「スレートトーンを挿入する」)

㉑ 録音(●)ボタン

停止中に押すと、録音待機状態になります。

録音中に押すと、録音一時停止になります。

左サイドパネル



㉒ 1/L端子（XLR ／ TRS）

XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

XLR（1：GND、2：HOT、3：COLD）
TRS（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

㉓ 3-4端子（φ3.5mm ステレオミニジャック）

ステレオミニジャックのマイク入力または外部入力端子です。

プラグインパワーに対応しています。

TRS（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

㉔ 2/R端子（XLR ／ TRS）

XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

XLR（1：GND、2：HOT、3：COLD）

TRS（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

注 意

- これらの**1/L**端子および**2/R**端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- **1/L**端子および**2/R**端子にコンデンサーマイクを接続したり、接続しているコンデンサーマイクを外すときは、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でマイクを接続したり接続を外したりすると、マイクおよび本機の故障の原因になります。
- ファントム電源が供給されているXLRコネクターにアンバランスのダイナミックマイクを接続しないでください。マイクおよび本機の故障の原因になります。

㉕ CAMERA IN端子（φ3.5mm ステレオミニジャック）

カメラの音声出力端子に接続します。
カメラ側の接続端子に関しては、カメラの取扱説明書をご覧ください。（ → 39ページ「カメラと接続する／カメラに取り付ける」）

㉖ REMOTE端子（φ2.5mm TRSジャック）

別売りの専用フットスイッチ（TASCAM RC-3F）または専用ワイヤードリモコン（TASCAM RC-10）を接続します。リモートコントロールによる再生、停止などの操作が可能になります。（ → 86ページ「第11章 REMOTE端子を使う」）

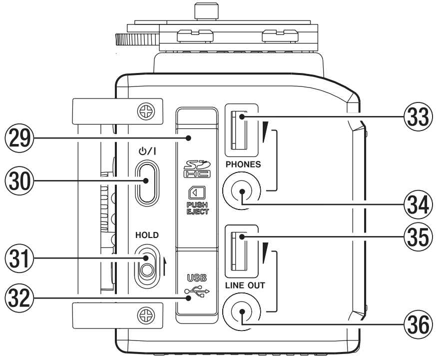
㉗ CAMERA OUTボリューム

CAMERA OUT端子から出力される音量を調節します。

㉘ CAMERA OUT端子（φ3.5mm ステレオミニジャック）

カメラの外部マイク入力端子に接続します。
カメラ側の接続端子に関しては、カメラの取扱説明書をご覧ください。（ → 39ページ「カメラと接続する／カメラに取り付ける」）

右サイドパネル



㉙ SDカードスロット

SDカードを挿入するカードスロットです。

㉚ ⏻/I ボタン

電源のオン／オフ（スタンバイ状態）を行うときに、このボタンを長押しします。（ → 36ページ「電源をオンにする／オフ（スタンバイ状態）にする」）

㉛ HOLDスイッチ

上側にセット（矢印の方向に移動）するとホールド機能が働きます。ホールド中は、全てのボタン操作を受付けません。

㉜ USB端子

付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続するためのUSBポートです。（ → 79ページ「第9章 パソコンと接続する」）

付属のUSBケーブルまたは別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）で電源を供給することができます。

注 意

パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

㉝ PHONESボリューム

PHONES端子から出力される音量を調節します。

㉞ PHONES端子（φ3.5mm ステレオミニジャック）

ステレオヘッドホンを接続するステレオミニジャックです。

PHONESボリュームで音量を調節します。

注 意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESボリュームの音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

㉟ LINE OUTボリューム

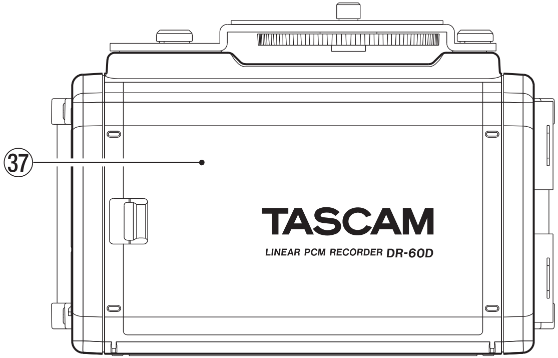
LINE OUT端子から出力される音量を調節します。

㊱ LINE OUT端子（φ3.5mm ステレオミニジャック）

ステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

LINE OUTボリュームで音量を調節します。

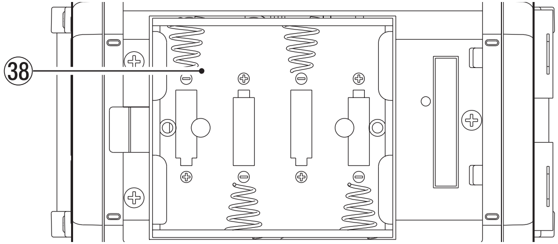
リアパネル



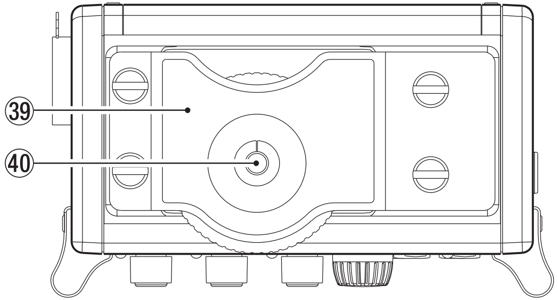
㊲ 電池ケース蓋

㊳ 電池ケース

本機の電源になる電池（単3形電池、4本）を収納するケースです。（ → 33ページ「単3形電池で使用する」）



トップパネル



㊴ **デジタル一眼レフカメラ取り付け用ブラケット**

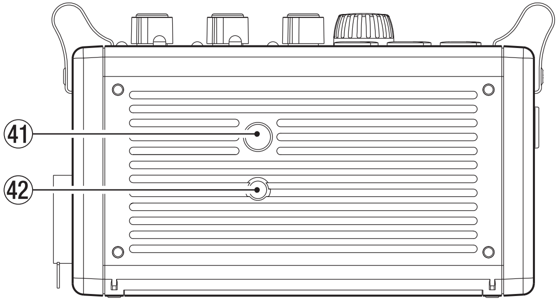
デジタル一眼レフカメラ取り付け用ネジを使用するためのブラケットです（本体取り付け済）。

ブラケットを使用しない場合は、4本の固定ネジをコインなどで取り外すことができます。

㊵ **デジタル一眼レフカメラ取り付け用ネジ（1/4インチ）**

本機をカメラ下部やカメラ取り付け用ネジに対応したラックなどに取り付けるときに使用します。

ボトムパネル



㊶ **三脚取り付け用穴（1/4インチ）**

本体に三脚を取り付けることができます。

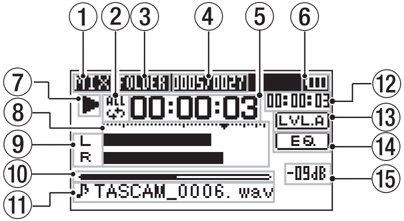
注 意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のねじを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚またはマイクスタンドを水平な場所に置いてください。
- 三脚によっては、ネジの規格の違いにより、直接取り付けられない場合があります。その場合は、市販の変換アダプターをご使用ください。

㊷ **ビデオボス挿入穴（VIDEO PIN）**

ビデオボス付の三脚を使用時にビデオボスを、この穴に合わせて三脚に取り付けします。

ホーム画面



メモ

モニターのときは、メーターやアイコンなど表示の一部が録音画面に切り換わります。

① モニターモード表示

現在のモニター音の種類が表示されます。

表示	内容
MIX	CH1-4のミックス音、 デュアル録音モードのメインファイル
SUB	デュアル録音モードのサブファイル
1+2	CH1-2のミックス音
3+4	CH3-4のミックス音
CAM	**CAMERA IN**端子からの入力音
CH1	CH1の入力音
1-M	デュアル録音モードのメインファイルのL側
1-S	デュアル録音モードのサブファイルのL側
CH2	CH2の入力音
2-M	デュアル録音モードのメインファイルのR側
2-S	デュアル録音モードのサブファイルのR側
CH3	CH3の入力音
3-M	デュアル録音モードのメインファイルのL側
3-S	デュアル録音モードのサブファイルのL側
CH4	CH4の入力音
4-M	デュアル録音モードのメインファイルのR側
4-S	デュアル録音モードのサブファイルのR側

② リピート再生の設定状態表示

状況に応じて、以下のアイコンを表示します。

: シングル再生
: 1ファイルリピート再生
: 全再生ファイルリピート再生

③ 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

ALL　：MUSICフォルダー内の全ファイル
FOLDER　：選択したフォルダー内の全ファイル

④ カレント再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象範囲の総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

⑤ 経過時間表示

現在のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑥ 電源供給の状態表示

電池供給時は、電池アイコンを表示します。
電池残量に応じて、目盛りが表示されます（“”、“”、“”）。目盛り表示がなくなると“”が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフ（スタンバイ状態）になります。
別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）使用時およびUSBバスパワー供給時は、“”を表示します。

メモ

残量がなくなる前でも録音など消費電力の大きい動作を行おうとすると、**“Battery Low”**の警告のポップアップメッセージが出ることがあります。

⑦ レコーダーの状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
❚❚	一時停止中
▶	再生中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中
▶▶❙	次のファイルの先頭にスキップ
❙◀◀	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑧ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。

⑨ トラック状態表示

各録音モードにより表示するアイコンが変わります。

表示例	内容
L R	MONOモードまたはSTEREOモードで録音された再生ファイルを再生時
CH1 / CH2 / CH3 / CH4	MONOモードのモニター時
1·2 / 3·4	STEREOモードのモニター時
CH1 -6 / 1·2 -6	DUAL MONOモードまたはDUAL STモードで録音された再生ファイルを再生時、またはモニター時
1·2 3·4	4CHモードで録音された再生ファイルを再生時、またはモニター時

⑩ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑪ ファイル名表示

再生中のファイル名を表示します。
4チャンネル録音モード、デュアル録音モードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。

⑫ 残量時間表示

現在のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑬ レベルアライン機能の設定状態表示

レベルアライン機能のオン／オフ状態をアイコン表示します。（→75ページ「音圧感を上げて聴き取りやすくする（レベルアライン機能）」）

LVL.A：レベルアラインオフ
LVL.A：レベルアラインオン

⑭ 再生イコライザーの設定状態表示

再生イコライザーのオン／オフ状態をアイコン表示します。（ → 76 ページ「再生イコライザー機能を使う」）

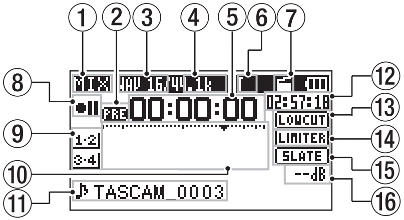
：再生イコライザーオフ

：再生イコライザーオン

⑮ ピーク値のデシベル（dB）表示

一定時間ごとに、その期間の再生レベルの最大値を、デシベル表示します。

録音画面



① モニターモード表示

現在のモニター音の種類が表示されます。

表示	内容
MIX	CH1-4のミックス音、 デュアル録音モードのメインファイル
SUB	デュアル録音モードのサブファイル
1+2	CH1-2のミックス音
3+4	CH3-4のミックス音
CAM	**CAMERA IN**端子からの入力音
CH1	CH1の入力音
1-M	デュアル録音モードのメインファイルのL側
1-S	デュアル録音モードのサブファイルのL側
CH2	CH2の入力音
2-M	デュアル録音モードのメインファイルのR側
2-S	デュアル録音モードのサブファイルのR側
CH3	CH3の入力音

表示	内容
3-M	デュアル録音モードのメインファイルのL側
3-S	デュアル録音モードのサブファイルのL側
CH4	CH4の入力音
4-M	デュアル録音モードのメインファイルのR側
4-S	デュアル録音モードのサブファイルのR側

② プリレック機能またはオートレック機能の設定状態表示

プリレック機能が“**ON**”かつ録音待機中は、“PRE”アイコンが表示されます。

オートレック機能が“**ON**”かつ録音中は、“AUTO”アイコンが表示されます。

③ 録音フォーマット表示

録音ファイルのフォーマットを表示します。

WAV16 ／ WAV24 ／ BWF16 ／ BWF24

④ 録音サンプリング周波数表示

録音ファイルのサンプリング周波数を表示します。

44.1k/48k/96kHz

⑤ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑥ 録音チャンネル数表示

録音ファイルのチャンネル数を表示します。

ST ／ MONO

⑦ オートトーン機能の設定状態表示

オートトーン機能のオン／オフ状態をアイコン表示します。（ → 61ページ「オートトーン機能を使う」）

非表示：オートトーンオフ

：オートトーンオン

⑧ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
● ❚❚	録音待機中または録音一時停止中
●	録音中
	セルフタイマー録音待機中

⑨ 入力ソース表示

入力しているソースをアイコン表示します。

表示例	内容
CH1 / CH2 / CH3 / CH4	モノラル録音モードの入力ソース
1·2 / 3·4	ステレオ録音モードの入力ソース
CH1 -6 / 1·2 -6	デュアル録音モードの入力ソースとDUAL側の入力レベル設定値（**“0”**～**“-12”**）
1·2 3·4	4チャンネル録音モードの入力ソース

⑩ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。

目盛りには、－12dBの位置に入力レベル調整時の目印となる“▼”マークがあります。

⑪ ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

4チャンネル録音モード、デュアル録音モードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。

⑫ 録音残時間

設定した録音モード、サンプリング周波数、録音フォーマットにおけるSDカードの残時間（時：分：秒）を表示します。

⑬ ローカットフィルターオン／オフ状態表示

ローカットフィルターのオン／オフ状態を表示します。（ → 49ページ「ローカットフィルターを設定する」）

CH1、CH2またはCH3/4のいずれかのローカットフィルターが **"40Hz"**、**"80Hz"** または **"120Hz"** 設定されている時にアイコンを反転表示します。

LOWCUT：ローカットフィルターオフ
LOWCUT：ローカットフィルターオン

⑭ リミッター機能状態表示

CH1、CH2またはCH3/4のいずれかのリミッター機能が **"MONO"** または **"LINK"** 設定されている時にアイコンを表示します。（ → 48ページ「リミッター機能を設定する」）

LIMITER：リミッターオフ
LIMITER：リミッターオン

⑮ スレートボタン設定状態表示

SLATEボタンの設定状態（有効／無効）を表示します。（ → 62ページ「スレートトーンを挿入する」）

SLATE：SLATEボタン無効
SLATE：SLATEボタン有効

⑯ ピーク値のデシベル（dB）表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。

メニューの構成

MENUボタンを押すと、**"MENU"** 画面が表示されます。メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	**機能**	**参照ページ**
REC MODE	録音ソースを設定します。	49ページ 50ページ 52ページ 54ページ
INPUT SETTING	入力の設定を行います。	46ページ 48ページ 49ページ
REC SETTING	録音の設定を行います。	40ページ 42ページ 58ページ 60ページ 61ページ 62ページ
AUTO REC	オートレックの設定を行います。	56ページ 59ページ
PLAY SETTING	再生範囲、リピート再生、ジャンプバックの設定を行います。	67ページ 70ページ
BROWSE	カード内のファイル、フォルダーの操作をします。	64ページ 68ページ 69ページ
OTHERS	サブメニュー項目を表示します。	37ページ 46ページ 81ページ 85ページ 86ページ

“MENU”画面で**“OTHERS”**項目を選択すると、**“OTHERS”**画面が表示されます。サブメニュー項目は、以下の通りです。

サブメニュー項目	**機能**	**参照ページ**
INFORMATION	ファイル情報、SDカード情報、システム情報を表示します。	81ページ
FILE NAME	ファイル名の設定をします。	85ページ
DATE/TIME	日時、時刻の設定をします。	37ページ
REMOTE	別売の専用フットスイッチ（TASCAM RC-3F）、または別売のワイヤードリモコン（TASCAM RC-10）の設定を行います。	86ページ 87ページ
SYSTEM	各種設定を行います。	83ページ

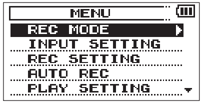
注 意

- 録音待機中または録音中は、**“INPUT SETTING”**画面と**“AUTO REC”**画面のみ表示されます。
- 録音中には、**“AUTO REC”**項目の設定を変更できません。

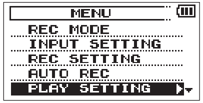
メニューを使う

再生範囲の設定を変更することを例に説明します。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。

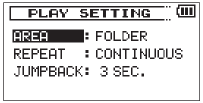


2. DATAダイヤルを回してメニュー項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押すと各種設定画面に移動します。



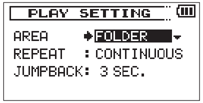
[PLAY SETTING選択時]

3. DATAダイヤルを回して、設定する項目を選択（反転表示）します。



[AREA 選択時]

4. DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動します（反転表示）。



5. DATAダイヤルを回して、設定を変更します。
6. 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押します。
   設定項目選択状態に戻りますので、DATAダイヤルを回して設定したい項目を選択（反転表示）します。
7. 必要に応じて、手順**3.** ～ **6.**を繰り返して、各項目を設定します。
8. MENUボタンを押すと、**“MENU”**画面（または**“OTHERS”**画面）に戻ります。**停止(■)[HOME]** ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。

MENUボタン

"MENU" 画面を呼び出します。

停止(■)[HOME] ボタン

各設定画面を表示中に**停止(■)[HOME]** ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。確認のポップアップメッセージに対して「NO」を選択するときにも使用します。

DATAダイヤル

DATAダイヤルを回して、各種設定画面での項目の選択や値の変更を行います。また、ファイルの再生位置の移動にも使用します。

DATAダイヤルを押して、各種設定画面で選択されている項目を決定したり、確認のポップアップメッセージに対して「YES」と答えるときに使います。

録音中に**DATA**ダイヤルを押すと、手動でマークを付けることができます。（ → 59ページ「録音中に手動でマークを付ける」）

DATAダイヤルを押しながら、**⏮** ボタンを押すと前のマークに、**⏭** ボタン押すと次のマークへ移動します。（ → 59ページ「マークの位置への移動」）

⏭ ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動するときや、**"BROWSE"** 画面でフォルダーを開くときに使用します。

⏮ ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動するときや、**"BROWSE"** 画面でフォルダーを閉じるときに使用します。

QUICKボタン

クイックメニューをポップアップ表示します。

- **停止中**：現在の再生ファイルの削除、分割、レベルアライン機能、 イコライザー機能、マイク入力ゲインの切り換え機能
- **再生中**：レベルアライン機能、イコライザー機能
- **録音待機中**：マイク入力ゲインの切り換え機能
- **録音中**：マイク入力ゲインの切り換え機能
- **"BROWSE"** 画面表示中：ファイル／フォルダーの操作
- **"MIXER"** 画面表示中：マイク入力ゲインの切り換え機能

録音(●)ボタン

"REC MODE" 画面を呼び出します。

"REC MODE" 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

MIXERボタン

"MIXER" 画面を呼び出します。

"MIXER" 画面表示中に押すと、ホーム画面へ戻ります。

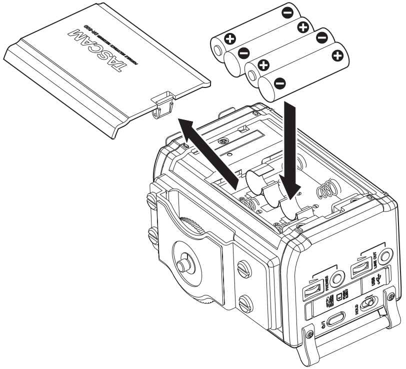
電源の準備

電源について

本機は、単3形電池4本、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）または付属のUSBケーブルを使って（USBバスパワー供給）、本機に電源を供給します。
本機は、単3形アルカリ乾電池および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

単3形電池で使用する

本機のリアパネルの電池ケース蓋を取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を4本セットして、電池ケース蓋を取り付けます。



単3形電池で使用するとき、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（ → 83ページ「電池の種類の設定」）

注 意

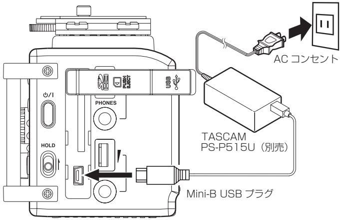
- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。

メ モ

コンデンサマイクへファントム電源を供給した場合は、電力を多く消費します。単3形電池（ニッケル水素電池またはアルカリ乾電池）で供給しているときに、コンデンサマイクを使用すると稼働時間が短くなります。
長時間稼働させたい場合は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）や外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA）を使って、本機に電源を供給してご使用ください。

ACアダプターで使用する（別売）

図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）と本機のUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。



メモ

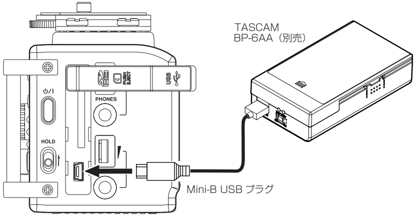
電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。

注 意

- 必ず別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

外付けバッテリーパックで使用する（別売）

図のように、別売の専用外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA）と本機のUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。詳しい使い方は、BP-6AAの取扱説明書をご覧ください。

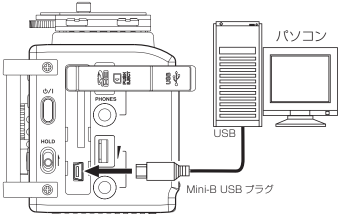


注 意

BP-6AAの電池残量は、本機からは検知できません。本機に電池を内蔵しないでBP-6AAだけで動作させていると、BP-6AAの電池残量がなくなったときに突然動作が停止する場合があります。
トラブルを防止するために、本機には残量が十分にある電池を内蔵してからBP-6AAを接続して使用するようにしてください。

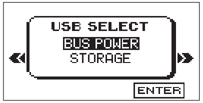
USBバスパワーで使用する

図のように、パソコンと本機を付属のUSBケーブルを使って接続します。



電源がオンのときにUSB接続する、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで供給するか、またはパソコンとUSB接続するかを選択する **"USB SELECT"** 画面が表示されます。

DATAダイヤル回して **"BUS POWER"** を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルを押すと電源がUSB端子から供給され、ホーム画面が表示されます。



メモ

- 電池をセットした状態でUSB接続した場合は、USBから電源が供給されます（USBバスパワー優先）。
- ACアダプターでの使用もUSBケーブルを使用した接続のため、同じ方法になります。

注意

- パソコンのUSBバスパワーの仕様によっては、USBケーブルで接続しても本機が動作しないことがあります。その場合は、別売の専用AC アダプター（TASCAM PS-P515U）をご使用ください。
- 本機は、パソコン本体の省電力機能、スリープ機能などには対応していません。パソコンからのUSBバスパワーで本機を使用する場合は、必ずそれらの機能をオフにしてください。

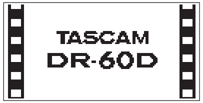
電源をオンにする／オフ（スタンバイ状態）にする

注 意

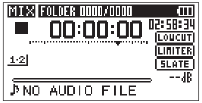
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）使用時、およびパソコンとのUSBバスパワー接続で供給しているときは、電源をオフにするとスタンバイ状態になります。
- 本機の電源のオン／オフ（スタンバイ状態）は、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ（スタンバイ状態）時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

電源がオフ（スタンバイ状態）時に、⏻/I ボタンを長押しし、**"TASCAM DR-60D"**（起動画面）が表示されたら離します。
本機が起動してホーム画面が表示されます。



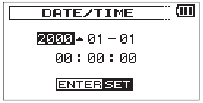
[起動画面]



[ホーム画面]

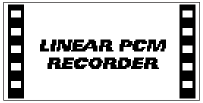
注 意

初回電源投入時（および電池がない状態でしばらく置いたため内蔵時計がリセットされたとき）には、起動画面が表示される前に、日時を設定する **"DATE/TIME"** 画面が表示されます。（ → 37ページ「日時を設定する」）



電源をオフ（スタンバイ状態）にする

電源オン時に、⏻/I ボタンを長押しし、**"LINEAR PCM RECORDER"** と表示されたら離します。
シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。



注 意

電源をオフ（スタンバイ状態）にするときは、必ず ⏻/I ボタンで行ってください。
電源がオンのときに電池を外したり、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）で使用している時に電源コードを抜いたり、USBバスパワーで使用している時にUSBケーブルを抜くと録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

本機は、リジューム機能を搭載しており、電源をオンにしたときに、前回電源をオフ（スタンバイ状態）にしたときの位置（時間）にロケートされます。
電源投入後、**再生(►)**ボタンを押すと、電源をオフ（スタンバイ状態）にした時点のファイルの再生位置（時間）から再生することが可能です。

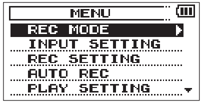
メ モ

この内容は、SDカードに記録されているため、カードを入れ換えたり、フォーマットした場合にはリジュームできません。

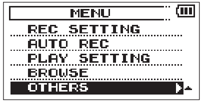
日時を設定する

本機は、本体内の時計を基に、録音したファイルに日時を記録します。

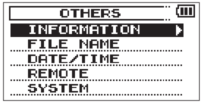
1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。



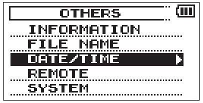
2. DATAダイヤルを回して**“OTHERS”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。



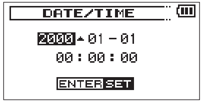
“OTHERS”画面が表示されます。



3. DATAダイヤルを回して**“DATE/TIME”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。



“DATE/TIME”画面が表示されます。



4. DATAダイヤル、I◄◄ ボタンまたは ►►I ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、DATAダイヤルを回して値を変更します。

5. MENUボタンまたは I◄◄ ボタンを押すと確定し、**“OTHERS”**画面に戻ります。

メモ

ここで設定した日時をファイル名に付けることができます。（ → 85ページ「ファイル名の形式を設定する」）

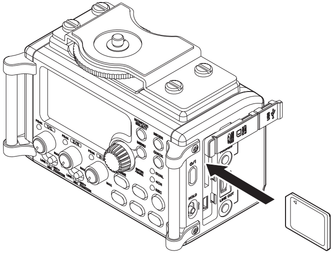
注意

日時の設定は、電池の少ない状態または別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）の接続がない状態、USBバスパワーで動作していない状態では、数分しか保持しません。
電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

SDカードを挿入する／取り出す

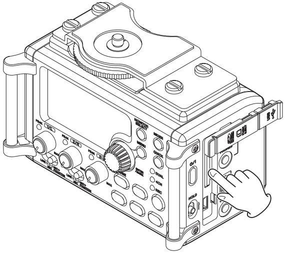
挿入する

1. 右サイドパネルのSDカードスロット・USB端子カバーをあけます。
2. SDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。



取り出す

1. SDカードスロット・USB端子カバーをあけます。
2. SDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。

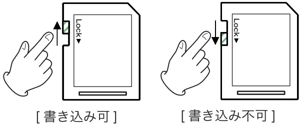


注意

- 録音、再生などカードアクセス中に、本機からSDカードを取り出さないでください。
- パソコンとUSB接続中、本機からSDカードを取り出さないでください。
- 使用できるSDカードは、SD/SDHC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）には、当社で動作確認済みのSDカードのリストが掲載されています。

SDカードのライトプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト（書き込み防止）スイッチがついています。

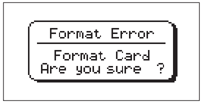


プロテクトスイッチを [LOCK] の方向へスライドすると、ファイルの記録や編集ができなくなります。録音や削除などを行う場合は、プロテクト（書き込み防止）スイッチを解除してください。

SDカードを使えるようにする

本機でSDカードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。

1. SDカードが挿入されていることを確認し、電源をオンにします。
2. 新しいカード、または本機以外でフォーマットされたカードを挿入したとき、以下のような確認のポップアップメッセージが表示されます。



3. DATAダイヤルを押すと、フォーマットを開始します。

注意

フォーマットを行うと、SDカード上のデータは全て消去されます。

4. フォーマットが終了するとホーム画面に戻ります。また、本機ではいつでもフォーマットを行うことができます。

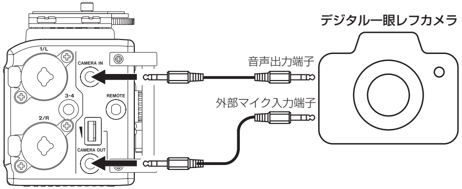
注意

フォーマットは、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で供給しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

カメラと接続する／カメラに取り付ける

本機の音声をカメラに出力したり、カメラからの音声を本機でモニターできるようにするためには、本機とデジタル一眼レフカメラを市販のφ3.5mmステレオミニプラグケーブルを使用して接続する必要があります。

1. 本機の音声をカメラで録音したい場合には、左サイドパネルのCAMERA OUT端子とカメラの外部マイク入力端子を接続してください。
   カメラからの音声を本機に入力してヘッドホンからモニターしたい場合には、左サイドパネルのCAMERA IN端子とカメラの音声出力端子を接続してください。



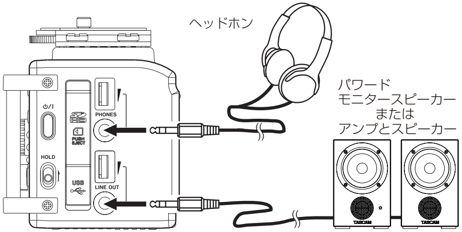
メモ

カメラ側の接続端子に関しては、カメラの取扱説明書をご覧ください。

2. 左サイドパネルのCAMERA OUTボリュームを使ってカメラに出力される音量を調整します。
3. カメラからの音声を本機に入力してヘッドホンからモニターするには、**"REC SETTING"**画面内の**"MONITOR"**項目でモニター機能をオンにします。（→ 40ページ「モニター機能の設定」）
4. 本機にカメラをマウントする場合は、トップパネルのカメラ取り付け用ネジでカメラに取り付けます。

モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、PHONES端子にヘッドホンを接続してください。
外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



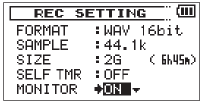
モニターについて

モニター機能を使用すると停止中に各入力音をヘッドホンなどでモニターすることができます。また、あらかじめ本機のCAMERA IN端子とカメラのライン出力端子を接続しておくことで、カメラ側で録音される音を本機で確認することができます。

モニター機能の設定

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"REC SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"MONITOR"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、入力信号のモニター機能のオン／オフを設定します。

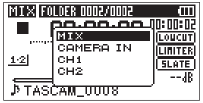
   選択肢：**"OFF"**、**"ON"**（初期値）



5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

モニターを選択する

1. ホーム画面で、停止中／一時停止中／録音待機中／録音中にMONITOR SELECTボタンを押して、モニター音を選択するメニューをポップアップ表示します。



[録音モード：ステレオ時の表示]

[録音モード：4CH時の表示]

2. DATAダイヤルを回して、モニターするモニター先を選択（反転表示）します。

選択肢	内容
MIX	CH1-4のミックス音をモニターします。
MIX Main	デュアル録音モードのメインファイルをモニターします。
MIX Sub	デュアル録音モードのサブファイルをモニターします。
CH12	CH1-2のミックス音をモニターします。
CH34	CH3-4のミックス音をモニターします。
CAMERA IN	**CAMERA IN**端子の信号をモニターします。
CH1	CH1の入力音をモニターします。
CH1 Main	デュアル録音モードのメインファイルのL側をモニターします。
CH1 Sub	デュアル録音モードのサブファイルのL側をモニターします。
CH2	CH2の入力音をモニターします。
CH2 Main	デュアル録音モードのメインファイルのR側をモニターします。
CH2 Sub	デュアル録音モードのサブファイルのR側をモニターします。
CH3	CH3の入力音をモニターします。
CH3 Main	デュアル録音モードのメインファイルのL側をモニターします。
CH3 Sub	デュアル録音モードのサブファイルのL側をモニターします。
CH4	CH4の入力音をモニターします。
CH4 Main	デュアル録音モードのメインファイルのR側をモニターします。
CH4 Sub	デュアル録音モードのサブファイルのR側をモニターします。

メモ

モニター先の選択肢は、録音モードの設定に応じて異なります。

3. モニター先の選択が終了したら、DATAダイヤルまたはMONITOR SELECTボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

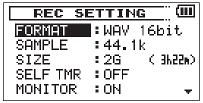
"CAMERA IN"選択中は**PHONES**端子から入力音をモニターできますが、表示されるレベルメーターは現在の録音モードに応じた入力音に対する表示になります。

本機は、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。
録音オーディオファイル形式は、WAV ／ BWF（44.1k/48k/96kHz、16/24ビット）から設定可能です。
BWF（Broadcast Wave Format）に対応したWAVファイルは、録音中に付けたマークをBWF対応のソフトなどで使用することができます。
また、本機では異なるレベルで２系統の録音を同時に行うこと（デュアル録音）や、4チャンネルの録音をすることなど、5つの録音モードがあります。

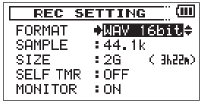
ファイル形式／サンプリング周波数／最大ファイルサイズを設定する（REC SETTING）

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を設定します。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**“REC SETTING”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶I ボタンを押します。
   “REC SETTING”画面が表示されます。



3. DATAダイヤルを回して**“FORMAT”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶I ボタンを押します。

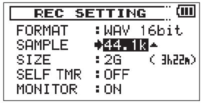


   ここでファイル形式を設定します。
   DATAダイヤルを回して、以下の中から設定します。
   選択肢：“BWF 16bit”、**“BWF 24bit”**、**“WAV 16bit”**（初期値）、**“WAV 24bit”**

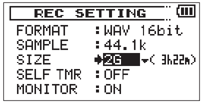
メモ

BWFは放送局用のフォーマットで、音質はWAVと同等です。ファイルの拡張子は**“.wav”**で、WAVファイルの拡張子と同じです。本誌では、BWFに対応したWAVファイルを「BWF」、BWFに対応していないWAVを「WAV」と表記します。

4. DATAダイヤルまたはI◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
5. DATAダイヤルを回して**“SAMPLE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶I ボタンを押します。



   ここでサンプリング周波数を設定します。
   DATAダイヤルを回して**“44.1k”**（初期値）、**“48k”**、**“96k”**の中から設定します。
6. DATAダイヤルまたはI◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
7. DATAダイヤルを回して**“SIZE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶I ボタンを押します。



   ここで最大ファイルサイズを設定します。

DATAダイヤルを回して **"64M"**、**"128M"**、**"256M"**、**"512M"**、**"1G"**、**"2G"**（初期値）の中から設定します。

メモ

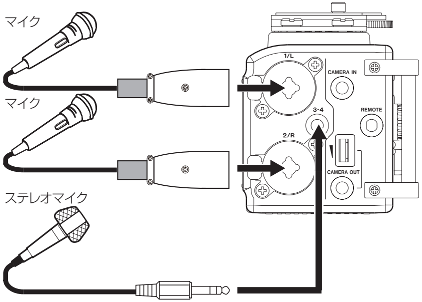
- 録音中に、**"REC SETTING"** 画面で設定した最大ファイルサイズを超えると、新たな別のファイルとして録音を継続します。
- ファイル形式によって、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。
  この値は、設定値の右側にある括弧の中に表示されます。

8. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

入力の設定をする

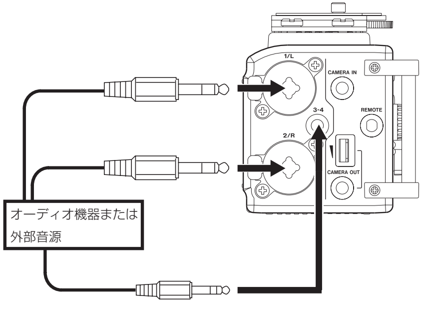
マイクを接続する

マイクを本機の1/L端子、2/R端子、3-4端子に接続します。
マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。



外部機器から録音する（LINE IN）

ステレオプラグケーブルを使用して、外部オーディオ機器の出力と接続します。

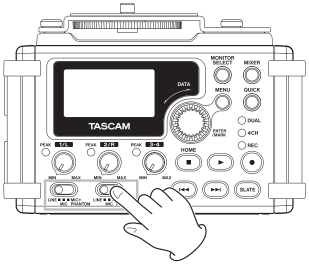


注 意

- 本機の入力レベルを調節しても、入力された音が歪んでいる場合は、外部機器の再生音量を小さくしてください。
- 外部機器の出力レベルを調節できないライン出力を接続した場合は、音量が大きい音源などではレベルオーバーとなり、調節できない場合があります。その場合には、レベル調節可能なヘッドホン端子などを接続してください。

入力の選択をする

接続されている外部機器に合わせてフロントパネルの**1/L**または**2/R**の入力切り換えスイッチを選択します。



LINE：
　外部機器のライン出力端子を本機器のアナログ入力に接続した場合は、「**LINE**」に設定します。

MIC：
　マイクを本機に接続した場合は、「**MIC**」に設定します。

MIC+PHANTOM：
　ファントム電源（+24V ／ +48V）を必要とするコンデンサーマイクを本機に接続した場合は、「**MIC+PHANTOM**」に設定します。
　「**MIC+PHANTOM**」にすると、ファントム電源をオンにする確認のポップアップメッセージが表示されます。（ → 45ページ「ファントム電源について」）
　+24V ／ +48Vの電圧設定は、**“SYSTEM”** 画面で行います。（ → 83ページ「ファントム電源の電圧値の設定」）

注 意

この設定に合わせて入力レベルの設定範囲が切り換わります。そのため切り換えた時に入力レベルが大きく変化する場合がありますので、電源がオフ（スタンバイ状態）の状態または出力レベルを絞り切った状態で切り換えてください。

ファントム電源について

停止中に、フロントパネルの**1/L**または**2/R**の入力切り換えスイッチを「**MIC+PHANTOM**」にすると、ファントム電源をオンにする確認のポップアップメッセージが表示されます。

確認のポップアップメッセージを表示中に**DATA**ダイヤルを押すとファントム電源がオンになり、**1/L**端子または**2/R**端子のファントム電源（+24V ／ +48V）がオンになりマイクに供給されます。

確認のポップアップメッセージを表示中に入力切り換えスイッチを「**LINE**」か「**MIC**」に切り換えると、確認のポップアップメッセージが消えます。

+24V ／ +48Vの電圧設定は、**"SYSTEM"** 画面で行います。（ → 83ページ「ファントム電源の電圧値の設定」）

メ モ

"+48V" に設定した場合、**"+24V"** よりも電池の消耗が早くなります。

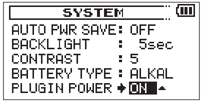
注 意

- 1/L端子または2/R端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- **1/L**端子または**2/R**端子にコンデンサーマイクを接続したり、接続しているコンデンサーマイクを外すときは、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でマイクを接続したり、外したりすると、マイクおよび本機の故障の原因になります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源をオンにしてください。
- リボンマイクロホンの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- USBバスパワーで使用する場合、使用されるパソコンによってはファントム電源が供給できない場合があります。その場合は、専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）をご使用ください。
- コンデンサーマイクによっては、+24Vに設定されたファントム電源では動作しないものもあります。
- ファントム電源使用中は、USB端子に接続されている電源ケーブルの抜き差しを行わないでください。本体に電池を挿入している状態でも電源が切れる可能性があり、録音中のデータが破損または消失してしまうことがあります。

プラグインパワーについて

3-4端子にプラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、プラグインパワー機能をオンにします。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**“OTHERS”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは►►Iボタンを押します。
   “OTHERS”画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して**“SYSTEM”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは►►Iボタンを押します。
   “SYSTEM”画面が表示されます。
4. DATAダイヤルを回して**“PLUGIN POWER”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは►►Iボタンを押します。



5. DATAダイヤルを回して、プラグインパワー機能を**“ON”**に設定します。（初期値：**“OFF”**）
6. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

注意

- ダイナミックマイクや電池内蔵の外部マイクを接続するときは、**“PLUGIN POWER”**項目を**“OFF”**に設定してください。**“ON”**にすると接続したマイクの故障の原因になる恐れがあります。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できなかったり、ハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

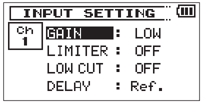
入力レベルを調節する

録音した音もしくは信号が、入力が大きすぎて歪んでいたり、小さすぎてノイズに埋もれてしまうことを避けるために、録音する前に入力レベルを調節する必要があります。
手動で調節する機能の他にリミッター機能もありますので、お好みに応じてお使いください。（→ 48ページ「リミッター機能を設定する」）

ヒント

入力レベルの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**“INPUT SETTING”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは►►Iボタンを押します。
   “INPUT SETTING”画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して各チャンネルの**“GAIN”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは►►Iボタンを押します。



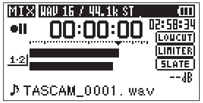
[INPUT SETTING画面Ch1]

4. DATAダイヤルを回して、マイク入力ゲインを設定します。
   選択肢：“LOW”（初期値）、**“MID”**、**“HIGH”**

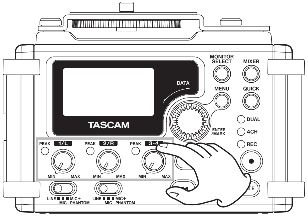
メモ

- **“Ch3/4”** のマイク入力ゲインの選択肢は、**“LOW”**（初期値）と **“HIGH”** のみです。
- **“LOW”**、**“MID”**、**“HIGH”** では、入力ゲインが異なります。入力の大きさに応じて選択を行います。
  どれを選択したらよいかわからない場合は、**“LOW”** を選択してください。そして入力レベル調節時に十分なレベルが得られない場合は、再び **“INPUT SETTING”** 画面に戻って **“MID”** に切り換えてください。それでも十分な入力レベルが得られないときは、**“HIGH”** に切り換えてください。
- リミッター機能は、録音待機中および録音中でも設定／変更することができます。

5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。
6. **録音(●)**ボタンを押して、録音待機状態にします。
   RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。



7. フロントパネルの1/Lつまみ／ 2/Rつまみ／ 3-4つまみを使って、入力レベルを調節します。



入力音が大きすぎる場合は、1/Lつまみ／ 2/Rつまみ／ 3-4つまみの左側のPEAKインジケーターが赤く点灯します。
レベルメーターには、−12dBの位置に“▼”の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつ1/Lつまみ／ 2/Rつまみ／ 3-4つまみのPEAKインジケーターが赤く点灯しないように入力レベルを設定してください。

注 意

マイク入力時は、アナログ回路で歪んだ場合にも点灯します。
ライン入力時は、アナログ回路で歪んだ場合でも点灯しません。

メモ

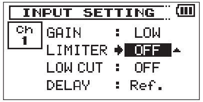
モニター音を聴きながら入力レベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを本機のPHONES端子に接続してください。
モニター音は、PHONES端子ボリュームで調節できます。モニター音量を変えても録音される音には、影響ありません。

8. 調節が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押して、録音待機状態を解除します。

リミッター機能を設定する

リミッター機能を使うと、入力レベルに応じて本機のマイク入力ゲインが変化し、大きい音が入力されても歪まないような録音レベルになります。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **“INPUT SETTING”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   “INPUT SETTING”画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して各チャンネルの**“LIMITER”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。



[INPUT SETTING画面Ch1表示]

4. DATAダイヤルを回して、マイク入力時のリミッター機能を設定します。

選択肢	内容
OFF（初期値）	リミッター機能をオフ
MONO	選択したチャンネルのみリミッター機能をオン
LINK	選択したチャンネルと同期するチャンネルのリミッター機能をオン

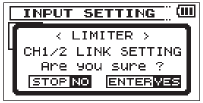
5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

注 意

- 入力音が大きすぎるとリミッター機能をオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベルを下げるか、音源からマイクを離してください。
- マイク入力時は、アナログ回路で歪んだ場合にも点灯します。
  ライン入力時は、アナログ回路で歪んだ場合でも点灯しません。

メ モ

- いずれかのチャンネルでリミッター機能がオン（**“MONO”**項目または**“LINK”**項目を選択時）のとき、録音画面に**“LIMITER”**アイコンを表示します。
- リミッター機能は、録音待機中および録音中でも設定／変更することができます。
- 1Ch（2Ch）のリミッター機能の設定を**“MONO”**と**“LINK”**の間で切り換えると、2Ch（1Ch）側の設定も同時に切り換わるため、確認のポップアップメッセージが表示されます。



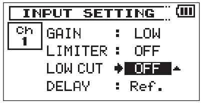
［**“MONO”** ➡ **“LINK”**切り換え時のポップアップメッセージ］

- Ch3/4のリミッター機能の設定を **“MONO”** または **“LINK”** にすると、両チャンネルにリミッター機能がオンされます。
  “MONO”にすると過大入力したチャンネルのみリミッター機能が働き、**“LINK”**にすると過大入力したチャンネルとその同期するチャンネルにリミッター機能が働きます。

ローカットフィルターを設定する

ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切音などのノイズを低減することができます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して "INPUT SETTING" 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "INPUT SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して各チャンネルの **"LOW CUT"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。



[INPUT SETTING画面Ch1表示]

4. DATAダイヤルを回して、マイク入力時のローカットフィルターのカットオフ周波数を設定します。

   選択肢："OFF"（初期値）、**"40Hz"**、**"80Hz"**、**"120Hz"**

5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

注 意

- ライン入力時は、ローカットフィルターを使用することはできません。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できなかったり、ハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

メ モ

ローカットフィルターの設定は、録音待機中および録音中でも設定／変更することができます。

録音モードについて

本機には、5つの録音モードがあります。
"REC MODE" 画面の **"REC MODE"** 項目にて、録音モードを設定します。
各録音モードにて設定する項目が異なります。

MONOモード

モノラル録音のモードです。

STEREOモード（初期値）

ステレオ録音のモードです。

DUAL MONOモード

1つの入力ソースで2種類の入力レベル設定（**"INPUT SETTING"** 画面）のファイルを作成するモードです。録音ファイルは、モノラル x 2となります。

DUAL STモード

1つの入力ソースで2種類の入力レベル設定（**"INPUT SETTING"** 画面）のファイルを作成するモードです。録音ファイルは、ステレオx2となります。

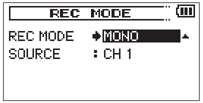
4CHモード

4つの外部入力を使用し、同時に2系統の入力を2ファイルに録音するモードです。
録音ファイルは、ステレオ x 2となります。

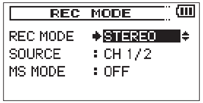
録音する（MONO ／ STEREO録音）

録音の設定をする

1. MENUボタンを押して、**“MENU”** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **“REC MODE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
“REC MODE” 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **“REC MODE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して **“MONO”** または **“STEREO”** に設定します。（初期値：**“STEREO”**）



[モノラル録音時]



[ステレオ録音時]

5. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
6. DATAダイヤルを回して **“SOURCE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
7. DATAダイヤルを回して、入力ソースを設定します。

REC MODE	SOURCE（選択肢）	内容
MONO	CH1	CH1をモノラル録音します。
	CH2	CH2をモノラル録音します。
	CH3	CH3をモノラル録音します。
	CH4	CH4をモノラル録音します。
STEREO	CH1/2	CH1/2をステレオ録音します。
	CH3/4	CH3/4をステレオ録音します。

8. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
9. **“REC MODE”** 項目を **“STEREO”** に設定した場合は、MSマイクの設定を行います。
MSマイクを使用する場合は、DATAダイヤルを回して **“MS MODE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
10. DATAダイヤルを回して、MSマイク使用時のデコードモードを設定します。

選択肢	内容
OFF	通常モードでの録音を行います。
REC	デコードしながら録音するときに使用するモードです。再生は、通常の再生を行います。
MONITOR	あとからデコードする目的でMSマイクの出力をデコードせずに録音するとき、録音時にモニターする場合に使用するモードです。 すでにデコードせずに録音したファイルをデコードして再生する場合にも使用します。

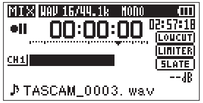
11. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

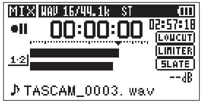
ファイルの保存先を設定する

録音したファイルの保存するフォルダーを設定します。
録音したファイルは、カレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）に録音されます。詳細は、66ページ「フォルダー操作」のクイックメニュー項目（**"SELECT"**）を参照してください。
特に指定しない場合は、《MUSIC》フォルダーの下にファイルが作成されます。

録音を開始する

1. **録音(●)**ボタンを押して、録音待機状態にします。

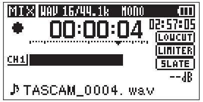


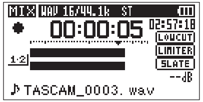


[モノラル録音時]　　[ステレオ録音時]

録音画面の上側には、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数、左側に入力ソース、下側には録音ファイル名が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. **録音(●)**ボタンを押します。通常の録音が始まります。





[モノラル録音時]　　[ステレオ録音時]

録音が始まると**REC**インジケーターが点灯し、ディスプレーには録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには、**停止(■)[HOME]** ボタンを押します。
録音を一時停止するには、**録音(●)**ボタンを押します。再度**録音(●)**ボタンを押す、または**再生(►)**ボタンを押すと、同じファイルに続きが録音されます。
一時停止後に**停止(■)[HOME]** ボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

メモ

本機は、**録音(●)**ボタンの操作音が録音されるのを避けるため、録音開始時に**録音(●)**ボタンが押されてから0.3秒後に録音を開始することができます。（ → 60ページ「開始を遅らせて録音する（REC DELAY）」）

MONO ／ STEREO録音時のファイル名

TASCAM_0001.WAV
①　②

①：**"FILE NAME"**画面の**"WORD"**項目の設定による
②：録音ファイルの基本番号

異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする（DUAL REC）

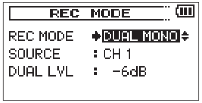
本機では、通常の録音とは別に、異なる入力レベルでもう1つの録音を同時に行うことができます。たとえば、マイク録音を行う際に、片方はできるだけ入力レベルを上げた状態で通常の録音をし、安全のために入力レベルを少し低めに設定したもう1つの録音を同時にするということができます。
録音ファイルは、2個（入力レベルを上げたファイル、入力レベルを下げたファイル）で保存されます。

メモ

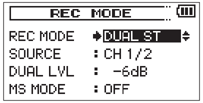
通常の録音における入力レベル設定は、従来の方法（ → 43ページ「入力の設定をする」、→ 46ページ「入力レベルを調節する」）で行ってください。

デュアル録音の設定をする

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**“REC MODE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   “REC MODE”画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して**“REC MODE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して**“DUAL MONO”**または**“DUAL ST”**に設定します。



[デュアルモノラル録音時]



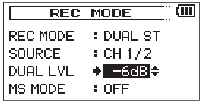
[デュアルステレオ録音時]

5. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
6. DATAダイヤルを回して**“SOURCE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
7. DATAダイヤルを回して、入力ソースを設定します。

REC MODE	SOURCE（選択肢）	内容
DUAL MONO	CH1	CH1をデュアルモノラル録音します。
	CH2	CH2をデュアルモノラル録音します。
	CH3	CH3をデュアルモノラル録音します。
	CH4	CH4をデュアルモノラル録音します。
DUAL ST	CH1/2	CH1/2をデュアルステレオ録音します。
	CH3/4	CH3/4をデュアルステレオ録音します。

8. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
9. DATAダイヤルを回して**“DUAL LVL”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
10. DATAダイヤルを回して、デュアル録音するもう1つのファイルの入力レベルを設定します。

    設定値：“0dB”～**“-12dB”**（初期値：**“-6dB”**）



11. DATAダイヤルまたは.ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。

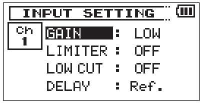
12. **“REC MODE”**項目を**“DUAL ST”**に設定した場合は、MSマイクの設定を行います。
MSマイクを使用する場合は、DATAダイヤルを回して**“MS MODE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは/ボタンを押します。

13. DATAダイヤルを回して、MSマイク使用時のデコードモードを設定します。

選択肢	**内容**
OFF	通常モードでの録音を行います。
REC	デコードしながら録音するときに使用するモードです。再生は、通常の再生を行います。
MONITOR	あとからデコードする目的でMSマイクの出力をデコードせずに録音するとき、録音時にモニターする場合に使用するモードです。 すでにデコードせずに録音したファイルをデコードして再生する場合にも使用します。

14. 設定が終了したら、MENUボタンを押して**“MENU”**画面を表示します。DATAダイヤルまたは.ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。

15. DATAダイヤルを回して“INPUT SETTING”項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは/ボタンを押します。
“INPUT SETTING”画面が表示されます。



16. DATAダイヤルを回して**“DELAY”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは/ボタンを押します。

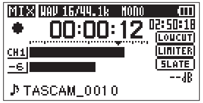
17. DATAダイヤルを回して、接続した各マイク間の距離に応じた値を設定します。

設定値：“-150ms”～**“0ms”**（初期値）～**“+150ms”**

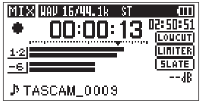
18. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]**ボタンを押してホーム画面に戻ります。

デュアル録音を開始する

録音(●)ボタンを押すと、デュアル録音が始まります。
デュアル録音時は、以下のような録音画面表示になります。



[デュアルモノラル録音時]



[デュアルステレオ録音時]

録音画面の入力ソース表示部に現在の入力ソースと、デュアル録音するもう一つのファイルの入力レベルを表示します。

デュアル録音時のファイル名

デュアル録音を行うと、2つのファイルが同時にできます。デュアル録音されたもう1つのファイルのファイル名は、通常録音されたファイルのファイル名に **“DXX”** が追加された名前になります。**“DXX”** は、下げた入力レベル幅です。

TASCAM_0002S12.WAV
①　②　③　④

TASCAM_0002S34D12.WAV
①　②　③　④　⑤

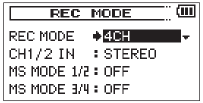
① ：**“FILE NAME”** 画面の **“WORD”** 項目の設定による
② ：録音ファイルの基本番号
③ ：**“S”** → ソースファイル
④ ：アサインチャンネル
　（**“12”** → 1/2チャンネル、**“34”** → 3/4チャンネル）
⑤ ：入力レベルを－12dB設定でデュアル録音されたファイル
　（例：－6dBでは **“D06”**、－10dBでは **“D10”**）

4チャンネルで録音する

外部マイクまたは外部機器を接続して、独立した4チャンネルの録音行うことができます。
録音ファイルは、ステレオ x2（1/2チャンネル、3/4チャンネル）のファイルで保存されます。

4チャンネル録音を設定する

1. MENUボタンを押して、**“MENU”** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **“REC MODE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   “REC MODE” 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **“REC MODE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して **“4CH”** に設定します。



5. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
6. DATAダイヤルを回して **“CH1/2 IN”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   CH1とCH2のマイク入力を選択します。
   選択肢：“STEREO”（初期値）、**“CH1 MUTE”**、**“CH2 MUTE”**
7. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。

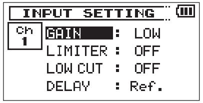
8. MSマイクを使用する場合は、DATAダイヤルを回して **"MS MODE 1/2"** 項目または **"MS MODE 3/4"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。

9. DATAダイヤルを回して、MSマイク使用時のデコードモードを設定します。

選択肢	内容
OFF	通常モードでの録音を行います。
REC	デコードしながら録音するときに使用するモードです。再生は、通常の再生を行います。
MONITOR	あとからデコードする目的でMSマイクの出力をデコードせずに録音するとき、録音時にモニターする場合に使用するモードです。 すでにデコードせずに録音したファイルをデコードして再生する場合にも使用します。

10. 設定が終了したら、MENUボタンを押して **"MENU"** 画面を表示します。

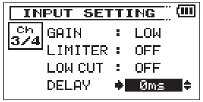
11. DATAダイヤルを回して "INPUT SETTING" 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
"INPUT SETTING" 画面が表示されます。



12. DATAダイヤルを回して **"DELAY"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。

13. DATAダイヤルを回して、接続した各マイク間の距離に応じた値を設定します。

設定値："-150ms" ～ **"0ms"**（初期値）～ **"+150ms"**



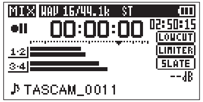
メモ

- 各マイク（1/2チャンネルと3/4チャンネル）の距離が離れている場合には、各マイク間に時間差が生じることがあるため、**"DELAY"** 項目にて距離に応じた設定を行い、時間差をなくします。
- **"DELAY"** 項目は、録音待機中および録音中でも設定／変更することができます。

14. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

4チャンネル録音を開始する

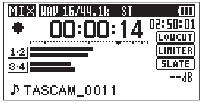
1. **録音(●)**ボタンを押して、録音待機状態にします。



メモ

録音画面の上側には、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数、左側に入力ソース、メーターバーの下に録音プロジェクト名が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

2. 再度、**録音(●)**ボタンを押します。録音が始まります。



4チャンネル録音時のファイル名

4チャンネル録音では、2つのファイルが同時にできます。
外部マイク（1/2チャンネル）または外部機器（3/4チャンネル）のファイルがセットで作成されます。

TASCAM_0002S12.WAV
①　②　③④

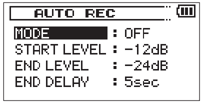
TASCAM_0002S34.WAV
①　②　③④

① ：**"FILE NAME"**画面の**"WORD"**項目の設定による
② ：録音ファイルの基本番号
③ ：**"S"** → ソースファイル
④ ：アサインチャンネル
（**"12"** → 1/2チャンネル、**"34"** → 3/4チャンネル）

録音機能を自動で動作させる（AUTO REC）

入力音のレベルに応じて、録音の開始や一時停止とファイルの更新、マークの設定を自動で行う機能です。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**"AUTO REC"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
"AUTO REC"画面が表示されます。



3. DATAダイヤルを回して**"MODE"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、オートレックモードを設定します。

   OFF（初期値）　：オフ
   MARK　：録音中に自動でマークを付けるモード
   PAUSE　：録音中に自動で一時停止させるモード
   TRK INC　：録音中に自動でファイルを更新するモード

5. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。
6. DATAダイヤルを回して**"START LEVEL"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
7. DATAダイヤルを回して、スタートレベル（信号が入力されたと判断する基準レベル）を設定します。

   選択肢：" -6dB"、**"-12dB"**（初期値）、**"-24dB"**、**"-48dB"**

8. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。

9. DATAダイヤルを回して **“END LEVEL”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。

10. DATAダイヤルを回して、エンドレベル（信号がなくなったと判断する基準レベル）を設定します。

選択肢：“-6dB”、**“-12dB”**、**“-24dB”**（初期値）、**“-48dB”**

11. DATAダイヤルまたは I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態に戻します。

12. DATAダイヤルを回して **“END DELAY”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。

13. DATAダイヤルを回して、エンドディレイ時間（信号がなくなったと確定するまでの時間）を設定します。

選択肢：“1sec”～**“5sec”**（初期値）

14. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

15. **録音(●)**ボタンを押し、録音待機状態にします。
入力音が **“START LEVEL”** 項目で設定した基準レベルを上回ると自動で録音を開始します。

16. 録音中の動作は **“MODE”** の設定により、次のようになります。

“MARK”のとき：
入力音が **“END LEVEL”** 項目で設定した基準レベルを **“END DELAY”** 項目で設定した時間以上にわたって下回った時、またその後 **“START LEVEL”** 項目で設定した基準レベルを上回った時、その位置にマークを付けます。

“PAUSE”のとき：
入力音が **“END LEVEL”** 項目で設定した基準レベルを **“END DELAY”** 項目で設定した時間以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると、同じファイルに録音を再開します。

“TRK INC”のとき：
入力音が **“END LEVEL”** 項目で設定した基準レベルを **“END DELAY”** 項目で設定した時間以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると新しいファイルに録音を再開します。

17. 録音を停止させる場合は、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してください。

ヒント

プリレック機能と組み合わせることにより、音の出だし部分を欠かすことなく録音できます。

注意

- オートレック機能がオンの時には、セルフタイマー機能は使用できません。
- フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。また、サンプリング周波数が96kHzの場合は、4秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成させるファイルのファイル名がすでに存在する場合は、更に数字が繰り上がります。

メモ

- 手動でマークを付けることもできます。（→ 59ページ「録音中に手動でマークを付ける」）
- 手動でファイルを更新することもできます。（→ 58ページ「録音中に手動でトラックインクリメントする」）
- 新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。

録音中にファイルを切り換えて録音を続ける（トラックインクリメント）

録音中に手動で、または設定した最大ファイルサイズになったときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます（トラックインクリメント機能）。

録音中に手動でトラックインクリメントする

録音中に、いつでも簡単に手動でファイルを更新し、録音を継続することができます。

1. 録音中に、►►I ボタンを押します。

メ モ

新しいファイルが作成されると、プロジェクト名の末尾の数字が繰り上がります。

注 意

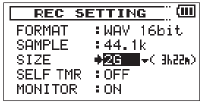
- フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。また、サンプリング周波数が96kHzの場合は、4秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名が既に存在する場合は、更に数字が繰り上がります。

ファイルサイズで自動的にトラックインクリメントする

録音中に、**"REC SETTING"** 画面で設定した最大ファイルサイズに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。
以下の手順で最大ファイルサイズの設定を行います。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"REC SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"SIZE"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、自動でトラックインクリメントする最大ファイルサイズを設定します。

   選択肢："**64M**"、"**128M**"、"**256M**"、"**512M**"、"**1G**"、"**2G**"（初期値）



5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

注 意

フォルダーとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

メ モ

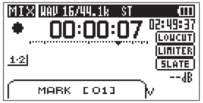
ファイル形式によっては、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。

マーク機能

録音中に手動でマークを付ける

録音中に手動で任意の位置にマークを付けることができます。

1. 録音中にDATAダイヤルを押します。
   マーク番号がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

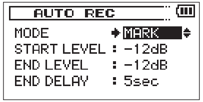


メ モ

- マークは、ファイルごとに **"01"** ～ **"99"** まで設定でき、ファイルにマークの情報を記録します。
- 本機で録音したBWF形式で録音されたWAVファイルは、録音中に付けたマークの情報がファイルへ保存されます。BWF対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。

録音中に自動でマークを付ける

オートレック機能により自動でマークをつけるように設定することができます。
"AUTO REC" 画面内の **"MODE"** 項目を **"MARK"** に設定します。



詳細は、56ページ「録音機能を自動で動作させる（AUTO REC)」を参照してください。

マークの位置への移動

停止中または再生中に、選択されているファイルに挿入されているマークの位置へ移動することができます。
頭出しのためのインデックスのように使用することができます。

1. 停止中または再生中にDATAダイヤルを押しながら、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押します。

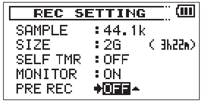
メ モ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

録音開始の少し前から録音する（PRE REC）

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます（プリレック機能）。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **“REC SETTING”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   “REC SETTING” 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **“PRE REC”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、プリレック機能を **“ON”** に設定します。
   （初期値：**“OFF”**）



5. 設定が終了したら、**停止(■)** [HOME] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

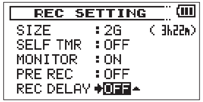
メモ

- 録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。
- プリレック機能をオンにするときは、レックディレイ機能をオフにしてください。

開始を遅らせて録音する（REC DELAY）

録音開始時、**録音(●)**ボタンが押されてから約0.3秒後（時間固定）に録音が開始されます（レックディレイ機能）。
録音(●)ボタンの操作音を録音したくないときに有効です。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **“REC SETTING”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   “REC SETTING” 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **“REC DELAY”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、レックディレイ機能を **“ON”** に設定します。
   （初期値：**“OFF”**）



5. 設定が終了したら、**停止(■)** [HOME] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

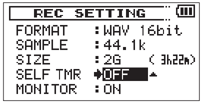
メモ

レックディレイ機能をオンにするときは、プリレック機能をオフにしてください。

セルフタイマー機能

カメラのセルフタイマーのように、設定時間経過後に録音を開始するように設定ができます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"REC SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"SELF TIMER"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、録音を開始するまでの時間を設定します。
   選択肢："**OFF**"（初期値）、"**2sec**"、"**10sec**"



5. 設定が終了したら、**停止(■)** [HOME] ボタンを押してホーム画面に戻ります。
6. **録音(●)**ボタンを押して、録音待機状態にします。
   レコーダーの動作状態表示部が、セルフタイマーアイコン "⏲" に変わり、その右に時間が表示されます。
7. **録音(●)**ボタンまたは**再生(►)**ボタンを押します。
   設定時間経過後、録音が開始されます。

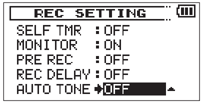
メモ

- 録音中に一時停止したときには、セルフタイマー機能は使用できません。
- オートレック機能がオンの時には、セルフタイマー機能は使用できません。

オートトーン機能を使う

オートトーン機能は、録音開始時や録音終了時に自動的にトーン信号を挿入する機能です。
左サイドパネルのCAMERA OUT端子をカメラの音声入力端子に接続すると、同じトーン信号がお互いのファイルに記録されるので、動画編集ソフトでの位置合わせの際に目安にすることができます。
デジタル一眼レフカメラとの接続方法の詳細については、39ページ「カメラと接続する／カメラに取り付ける」をご参照ください。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"REC SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"AUTO TONE"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、トーン信号を挿入する位置を設定します。
   選択肢："**OFF**"（初期値）、"**HEAD**"（録音開始時のみ）、
   "**HEAD+TAIL**"（録音開始時と終了時）

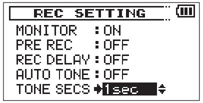


5. 設定が終了したら、**停止(■)** [HOME] ボタンを押してホーム画面に戻ります。

オートトーンの長さを設定する

オートトーンのトーン長を設定します。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"REC SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"TONE SECS"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、トーン長を設定します。
   選択肢："0.5sec"、**"1sec"**（初期値）、**"2sec"**、**"3sec"**

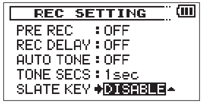


5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

スレートトーンを挿入する

録音中にフロントパネルのSLATEボタンを押すと、任意の位置で録音ファイルにスレート信号を挿入することができます。
SLATEボタンの誤操作防止のため、初期値では無効となっていますので、以下の手順でSLATEボタンの有効にします。
デジタル一眼レフカメラとの接続方法の詳細については、39ページ「カメラと接続する／カメラに取り付ける」をご参照ください。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"REC SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"SLATE KEY"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
4. DATAダイヤルを回して、SLATEボタンを有効に設定します。
   選択肢："DISABLE"（無効、初期値）、**"ENABLE"**（有効）



5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

SLATEボタンは、誤操作防止のためしばらく押し続けないとオンになりません。

録音時間について

各ファイルフォーマットにおける、SD ／ SDHCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット（録音時の設定）		SD ／ SDHCカード容量			
		1GB	2GB	4GB	8GB
WAV ／ BWF 16ビット（STEREO）	44.1kHz	1時間41分	3時間22分	6時間44分	13時間28分
	48kHz	1時間33分	3時間06分	6時間12分	12時間24分
	96kHz	46分	1時間33分	3時間06分	6時間12分
WAV ／ BWF 24ビット（STEREO）	44.1kHz	1時間07分	2時間15分	4時間30分	9時間00分
	48kHz	1時間02分	2時間04分	4時間08分	8時間16分
	96kHz	31分	1時間02分	2時間04分	4時間08分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のSD ／ SDHCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD ／ SDHCカードに可能な録音合計時間です。
- WAV形式のMONO録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。
- WAV ／ BWF形式のデュアル録音／ 4チャンネル録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

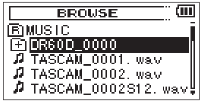
第5章　ファイルやフォルダーの操作（BROWSE画面）

“BROWSE”画面では、SDカード上の**“MUSIC”**フォルダー（オーディオファイルの収納フォルダー）の内容を見ることができます。

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからも**“MUSIC”**フォルダー内のフォルダー構成の変更やファイルの削除ができます。さらに、パソコンからファイル名の編集が可能です。

“BROWSE”画面を表示するには、MENUボタンを押して**“MENU”**画面を表示し、DATAダイヤルを回して**“BROWSE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶|ボタンを押します。



この画面には、**“BROWSE”**画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

BROWSE画面内のナビゲーション

“BROWSE”画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダーや音楽ファイルがリスト表示されます。
フォルダーは、第2階層まで作成できます。

- DATAダイヤルを回して、ファイルやフォルダーを選択します。
- フォルダーを選択中（反転表示中）に▶▶|ボタンを押すと、フォルダーの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダーを選択中（反転表示中）に|◀◀ボタンを押すと、現在開いているフォルダーが閉じて、上位の階層が表示されます。
- フォルダーやファイルを選択中（反転表示中）にQUICKボタンを押すと、クイックメニューがポップアップ表示されます。
- ファイルを選択中（反転表示中）にDATAダイヤルを押すと、ホーム画面に戻りそのファイルが再生されます。
このファイルを含むフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルが記録されるフォルダーとなります。また、再生範囲設定が**“FOLDER”**の場合は、このフォルダーが再生範囲になります。
- ファイルを選択中（反転表示中）に▶▶|ボタンを押すと、ホーム画面に戻りそのファイルがロードされます。
このファイルを含むフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルが記録されるフォルダーとなります。また、再生範囲設定が**“FOLDER”**の場合は、このフォルダーが再生範囲になります。
- フォルダーを選択中（反転表示中）にDATAダイヤルを押すと、ホーム画面に戻り、そのフォルダーの最初のファイル（リスト表示したときに一番上に表示されるファイル）が再生されます。
このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルが記録されるフォルダーとなります。また、直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が**“FOLDER”**になり、このフォルダーが再生範囲になります。

BROWSE画面内のアイコン表示

以下に**“BROWSE”**画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSICフォルダー（R）

ルート（ROOT）階層表示中の**“BROWSE”**画面では、最上段にMUSICフォルダーが表示されます。

オーディオファイル（♫）

音楽ファイルは、**“♫”**アイコンのあとにファイル名が表示されます。

フォルダー（⊞）

内部にフォルダーが存在するフォルダーです。

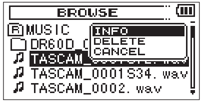
フォルダー（）
内部にフォルダーが存在しないフォルダーです。

表示中のフォルダー（）
現在、このフォルダーの内容を画面表示しています。

新しいフォルダー（）
新しいフォルダーを作成します。

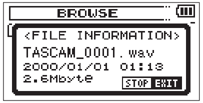
ファイル操作

"BROWSE" 画面内の希望のオーディオファイルを選択（反転表示）しQUICKボタンを押すと、以下のクイックメニューがポップアップ表示されます。

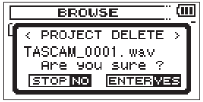


DATAダイヤルを回して希望の項目を選択（反転表示）しDATAダイヤルを押すと、本機が以下の動作を行います。

INFO
選択したファイルの情報（日付、サイズ）が表示されます。
再度DATAダイヤルを押すか、 **停止(■)[HOME]** ボタンを押すと、**"BROWSE"** 画面に戻ります。



DELETE
選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。
DATAダイヤルを押すとファイルが削除され、**停止(■)[HOME]** ボタンを押すと削除が中止されます。



注 意

現在選択されているファイルがデュアル録音または4CH録音された複数ファイルの場合は、2つのファイルが同時に削除されます。

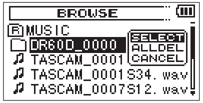
CANCEL
選択中（反転表示中）のファイルに関する操作を取り消し、クイックメニューを閉じます。

メ モ

QUICKボタンを押すことでクイックメニューを閉じることもできます。

フォルダー操作

“BROWSE”画面内の希望のフォルダーを選択し、QUICKボタンを押すと、以下のクイックメニューがポップアップ表示されます。



DATAダイヤルを回して希望の項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押すと本機が以下の動作を行います。

SELECT

ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが選択されます。直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が**“FOLDER”**になり、このフォルダーが再生範囲になります。また、この操作で選択されたフォルダーに、録音したファイルが保存されます。

ALL DEL

選択したフォルダー内のファイルを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

DATAダイヤルを押すとファイルが削除され、**停止(■)**[HOME] ボタンを押すと削除が中止されます。

メモ

書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。

CANCEL

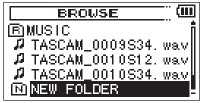
選択中（反転表示中）のフォルダーに関する操作を取り消し、クイックメニューを閉じます。

メモ

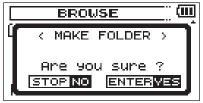
QUICKボタンを押すことでクイックメニューを閉じることもできます。

新しいフォルダーを作る

各フォルダーの一番下に、**“NEW FOLDER”**があります。



“NEW FOLDER”を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは►►Iボタンを押します。新たなフォルダーを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。



DATAダイヤルを押すとフォルダーが作成され、 **停止(■)**[HOME] ボタンを押すと作成が中止されます。ただし、本機では3階層以上のフォルダーを扱うことはできないため、第2階層のフォルダーには**“NEW FOLDER”**はありません。

新規に作成されたフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定が**“FOLDER”**の場合は、このフォルダーが再生範囲になります。

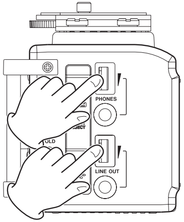
ホーム画面上では、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って再生するファイルを選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生範囲」として設定することができます。
SDカード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択が容易になります。
"PLAY SETTING" 画面で、「全ファイル」または「現在のフォルダー」から再生範囲を選択することができます。また、**"BROWSE"** 画面を使って希望のフォルダーを再生範囲に設定することができます。

メモ

"BROWSE" 画面では、再生範囲設定にかかわらず、SDカード上の希望のファイルを選択することができます。

再生の音量を調節する

PHONES端子または**LINE OUT**端子から出力される音量を、**PHONES**端子ボリュームまたは**LINE OUT**ボリュームを使って調節します。

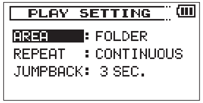


再生範囲を設定する（AREA）

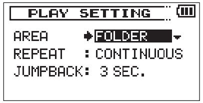
"PLAY SETTING" 画面で再生範囲を設定することができます。

1. **MENU**ボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。

2. **DATA**ダイヤルを回して **"PLAY SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは⏭ボタンを押します。
   "PLAY SETTING" 画面が表示されます。



3. **DATA**ダイヤルを回して **"AREA"** 項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは⏭ボタンを押します。

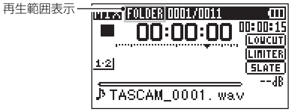


4. **DATA**ダイヤルを回して、再生範囲を設定します。
   ALL FILES：
   SDカード上のMUSICフォルダー内の全ファイルを再生することができます。
   FOLDER（初期値）：
   現在選択中のファイルが含まれているフォルダー内のファイルを再生することができます。

5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

メモ

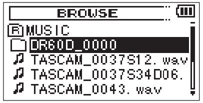
現在の再生範囲設定が、ホーム画面左上部に表示されます。



BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（1）

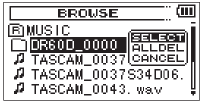
現在の再生範囲にかかわらず、**“BROWSE”**画面でフォルダーを選択すると、選択したフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**“BROWSE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶I ボタンを押します。
“BROWSE”画面が表示されます。



ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを使って階層を移動し、DATAダイヤルを回してフォルダーを選択（反転表示）します。
“BROWSE”画面でのナビゲーション操作については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（64ページ）をご覧ください。
4. QUICKボタンを押すと、以下のクイックメニューがポップアップ表示されます。

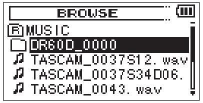


DATAダイヤルを回して**“SELECT”**を選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押します。
ホーム画面に戻り、フォルダー内の最初のファイルが選択され、停止状態になります。
以前の再生範囲設定にかかわらず再生範囲設定が**“FOLDER”**になり、このフォルダーが再生範囲になります。また、このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。

BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（2）

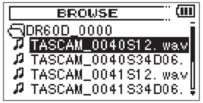
再生範囲が **“FOLDER”** のとき、**“BROWSE”** 画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **“BROWSE”** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ⏭ ボタンを押します。
   “BROWSE” 画面が表示されます。



   ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示されます。

3. ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを使って階層を移動し、DATAダイヤルを回して再生したいファイルが入っているフォルダーを選択（反転表示）します。
   “BROWSE” 画面でのナビゲーション操作については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（64ページ）をご覧ください。
4. DATAダイヤルまたは ⏭ ボタンを押します。
5. DATAダイヤルを回して、再生したいファイルを選択（反転表示）します。



6. DATAダイヤルを押します。
   ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。また、このフォルダーがカレントフォルダー（現在選択されているフォルダー）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。
   再生範囲が **“FOLDER”** に設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面で、⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して再生したいファイルを選択します。
ファイルの再生途中で ⏮ ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で ⏮ ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。
ファイルの先頭または途中で ⏭ ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（曲名など）やファイル番号がディスプレーに表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレーに動作アイコン **“■”** を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン **“❚❚”** を表示します。
- ファイルを移動したい場合には、⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを必要な回数押してください。

再生する

ホーム画面で停止中に**再生(►)**ボタンを押すと、再生を始めます。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- **“BROWSE”** 画面でファイル名を選択して再生させることもできます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に**停止(■)[HOME]** ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。（一時停止）
再度**再生(►)**ボタンを押すと、その位置から再生を始めます。

停止する

ホーム画面で再生中に**停止(■)[HOME]** ボタンを押して一時停止状態にし、再度**停止(■)[HOME]** ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。（停止）

早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で停止中または再生中に**⏮** ボタン／ **⏭** ボタンを押し続けると、早戻し／早送りサーチ再生を行います。

メモ

⏮ ボタン／ **⏭** ボタンを押し続けると、サーチスピードが加速します。

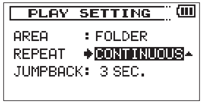
再生位置を移動する

ホーム画面で停止中または一時停止中に**DATA**ダイヤルを回して、再生位置を移動することができます。
再生位置を移動後は、一時停止状態になります。

繰り返し再生する（REPEAT）

1つのファイルを繰り返して再生したり、指定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

1. **MENU**ボタンを押して、**“MENU”** 画面を表示します。
2. **DATA**ダイヤルを回して **“PLAY SETTING”** 項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは **⏭** ボタンを押します。
   “PLAY SETTING” 画面が表示されます。
3. **DATA**ダイヤルを回して **“REPEAT”** 項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは **⏭** ボタンを押します。

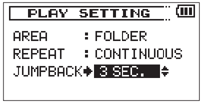


4. **DATA**ダイヤルを回して、リピートのモードを設定します。
   CONTINUOUS（初期値）:
   通常の再生（再生範囲内の連続再生）を行うモードです。
   SINGLE :
   1ファイルだけ再生するモードです。リピートは行いません。ホーム画面に“ ”アイコンが表示されます。
   1 REPEAT :
   再生中のファイルをリピート再生するモードです。ホーム画面に“ ”アイコンが表示されます。
   ALL REPEAT :
   再生範囲設定で設定した範囲内の全ファイルをリピート再生するモードです。ホーム画面に“ ”アイコンが表示されます。
5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻り、再生を開始します。

再生中に数秒前に戻り再生し直す（ジャンプバック再生）

再生中に**再生(►)**ボタンを押すと、数秒前（設定可能）に戻って再生します。（ジャンプバック再生機能）
再生中に聴きなおしたいフレーズ、歌詞などがあったときに**再生(►)**ボタンを押すことで、少し前から聴きなおすことができます。
戻る時間は、**"JUMPBACK"** 項目で指定できます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"PLAY SETTING"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "PLAY SETTING" 画面が表示されます。
3. DATAダイヤルを回して **"JUMPBACK"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。



4. DATAダイヤルを回してジャンプバックで戻る時間を設定します。
   選択肢："OFF"、**"1 SEC."**（1秒）～ **"10 SEC."**（10秒）、**"20 SEC."**（20秒）、**"30 SEC."**（30秒）（**初期値："3 SEC."**）
5. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

デュアル録音したファイルの再生

デュアル録音で作成された２つのファイルでは、トラック状態表示が反転しているファイルが再生されます。
ファイルを再生中にMONITOR SELECTボタンを押すことで、再生されるファイルを切り換えることができます。

メモ

DATAダイヤルを押したファイルの切り換えは、ファイル名の最初の11文字を基に検索し行います。ファイル名の変更などをした場合は、切り換わらないことがあります。

QUICKボタンの概要

QUICKボタンを使うと、次のことができます。

- ホーム画面で停止中または一時停止中に押すと、現在の再生ファイルの削除と分割、レベルアライン機能（全体の音圧感を上げる）、再生イコライザー機能、マイク入力ゲインの設定を行うためのクイックメニューをポップアップ表示します。

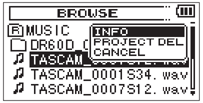
[停止中／一時停止中のクイックメニュー表示]

再生中は、レベルアライン機能と再生イコライザー機能の設定を行うためのクイックメニューをポップアップ表示します。

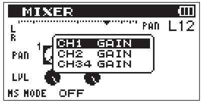
録音待機中／録音中は、マイク入力ゲインの設定を行うためのクイックメニューをポップアップ表示します。

[ホーム画面•再生中のクイックメニュー表示]

- **"BROWSE"**画面では、選択されているファイルまたはフォルダーを操作するクイックメニューをポップアップ表示します。（ → 65ページ「ファイル操作」）（ → 66ページ「フォルダー操作」）



- **"MIXER"**画面では、マイク入力ゲインの設定を行うためのクイックメニューをポップアップ表示します。



メモ

"MENU"画面、**"OTHERS"**画面および**"REC SETTING"**画面などの各種設定画面では、QUICKボタンは無効です。

表示画面、状態におけるQUICKボタンの動作は、次のようになります。

表示画面	状態	動作内容
ホーム画面	停止中／一時停止中	ファイルの削除と分割、レベルアライン機能と再生イコライザー、マイク入力ゲイン設定のクイックメニューをポップアップ表示
	再生中	レベルアライン機能と再生イコライザーのクイックメニューをポップアップ表示
	録音待機中／録音中	マイク入力ゲイン設定のクイックメニューをポップアップ表示
"BROWSE"画面		選択したファイル（またはフォルダー）を操作するクイックメニューをポップアップ表示
"MENU"画面 **"OTHERS"**画面、各種設定画面		動作せず
"MIXER"画面		マイク入力ゲイン設定のクイックメニューをポップアップ表示

クイックメニューを呼び出す

ホーム画面表示中にQUICKボタンを押すと、クイックメニューがポップアップ表示されます。
この画面に表示される内容は、QUICKボタンを押したときの状態により動作が異なります。

- ホーム画面で停止中または一時停止中のとき、以下の機能が選択できます。

[停止中／一時停止中のクイックメニュー表示]

DELETE：
現在のファイルの削除ができます。（ → 74ページ「選択ファイルを削除する（クイックデリート）」）

DIVIDE：
現在のファイルを分割することができます。（ → 74ページ「選択ファイルを分割する（DIVIDE）」）

LEVEL ALIGN：
全体の音圧感を上げて聴き取りやすくすることができます。（ → 75ページ「音圧感を上げて聴き取りやすくする（レベルアライン機能）」）

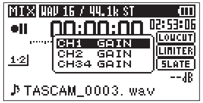
PLAY EQ：
再生音を聴きやすくするために、お好みに合わせて音色を選択することができます。（ → 76ページ「再生イコライザー機能を使う」）

CH1 GAIN、CH2 GAIN、CH34 GAIN：
マイク入力ゲインの設定を行います。（ → 76ページ「マイク入力ゲインをクイックメニューで設定する」）

- ホーム画面で再生中のとき、レベルアライン機能または再生イコライザーが選択できます。

[ホーム画面•再生中のクイックメニュー表示]

- ホーム画面で録音待機中または録音中のとき、マイク入力ゲイン設定のクイックメニューをポップアップ表示します。（ → 76ページ「マイク入力ゲインをクイックメニューで設定する」）



[録音待機中／録音中のクイックメニュー表示]

クイックメニューを閉じる

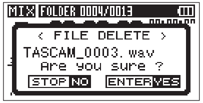
クイックメニューのポップアップ表示を閉じるには、QUICKボタンを押します。

選択ファイルを削除する（クイックデリート）

"BROWSE" 画面を使わずに、現在選択されているファイルを削除することができます。

1. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って、削除したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中にQUICKボタンを押して、クイックメニューをポップアップ表示します。
3. DATAダイヤルを回して、**"DELETE"** 項目を選択（反転表示）します。

4. DATAダイヤルを押すと、ファイルの削除を確認するポップアップメッセージが表示されます。



5. DATAダイヤルを押すと、ファイルが削除されホーム画面に戻ります。
   停止(■)[HOME] ボタン を押すと、削除が中止されホーム画面に戻ります。

メモ

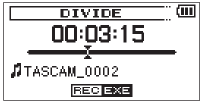
現在選択されているファイルがデュアル録音または4CH録音された複数ファイルの場合は、2つのファイルが同時に削除されます。

選択ファイルを分割する（DIVIDE）

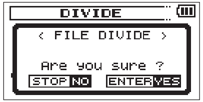
録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

1. ⏮ボタンまたは⏭ボタン、もしくは **"BROWSE"** 画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中にQUICKボタンを押して、クイックメニューをポップアップ表示します。
3. DATAダイヤルを回して、**"DIVIDE"** 項目を選択（反転表示）します。

4. DATAダイヤルを押して、**"DIVIDE"** 画面を表示します。



5. DATAダイヤルを回して分割する位置を決定し、**録音(●)**ボタンを押します。
   以下の確認のポップアップメッセージが表示されます。



6. DATAダイヤルを押すと、ファイルを分割後にホーム画面に戻ります。
   停止(■)[HOME] ボタンを押すと、分割されずに **"DIVIDE"** 画面に戻ります。

メモ

- **“DIVIDE”**画面表示中に**再生(►)**ボタンを押し、再生しながら位置を決めることもできます。
- **“DIVIDE”**画面表示中は、**再生(►)**ボタンで再生、**停止(■)[HOME]**ボタンで一時停止、⏮ボタンでファイルの先頭に、⏭ボタンでファイルの最後に移動します。DATAダイヤルを回して分割位置の微調整が行えます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に**“a”**または**“b”**が付加されたファイルが作成されます。

  （4チャンネルモードの録音ファイル例）

  分割前のファイル名

  TASCAM_0003S12.wav

  TASCAM_0003S34.wav

  分割後のファイル名

  TASCAM_0003aS12.wav（分割点より前の部分）

  TASCAM_0003aS34.wav（分割点より前の部分）

  TASCAM_0003bS12.wav（分割点より後の部分）

  TASCAM_0003bS34.wav（分割点より後の部分）
- 現在選択されているファイルがデュアル録音または4CH録音された複数ファイルの場合は、2つのファイルが同時に分割されます。

注意

- SDカードの容量が少ない場合は、分割できないことがあります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。

ヒント

録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。（ → 59ページ「マーク機能」）

音圧感を上げて聴き取りやすくする（レベルアライン機能）

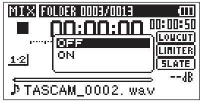
再生したときに小さくて聴き取りにくい音があるときなどに、全体の音圧感を上げて聴き取りやすくします。（レベルアライン機能）

1. ホーム画面で停止中または再生中にQUICKボタンを押して、クイックメニューをポップアップ表示します。
2. DATAダイヤルを回して、**“LEVEL ALIGN”**項目を選択（反転表示）します。

[停止中]

[再生中]

3. DATAダイヤルを押して、レベルアライン機能のオン／オフ切り換えを行うポップアップメニューを表示します。



[停止中]

4. DATAダイヤルを回して**“ON”**を選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押すと選択が確定しホーム画面に戻ります。（初期値：**“OFF”**）そのとき、再生中のホーム画面に**“LVL.A”**アイコンが表示されます。**“OFF”**のときは、再生中のホーム画面に**“LVL.A”**アイコンが表示されます。

メモ

再生音の素材によっては、効果が少ない場合があります（すでに音圧調整が行われている音楽ファイルなど）。

再生イコライザー機能を使う

再生音を聴きやすくするために、お好みに合わせて音色を選択することができます。

1. ホーム画面で停止中または再生中にQUICKボタンを押して、クイックメニューをポップアップ表示します。
2. DATAダイヤルを回して、**“PLAY EQ”** 項目を選択（反転表示）します。

[停止中]

[再生中]

3. DATAダイヤルを押して、再生イコライザー機能を設定するポップアップメニューを表示します。

[停止中]

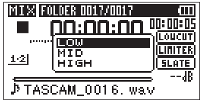
4. DATAダイヤルを回して設定したいイコライザー項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押すと再生イコライザー機能がオンになり、ホーム画面に戻ります。（初期値：**“OFF”**）
   そのとき、再生中のホーム画面に“ EQ ”アイコンが表示されます。
   “OFF” のときは、再生中のホーム画面に“ EQ ”アイコンが表示されます。

マイク入力ゲインをクイックメニューで設定する

1. ホーム画面で停止中／一時停止中／録音待機中／録音中、または **“MIXER”** 画面表示中にQUICKボタンを押して、クイックメニューを表示します。

[停止中／一時停止中のクイックメニュー表示]

2. DATAダイヤルを回してマイク入力ゲインを設定するチャンネルを選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押すとマイク入力ゲインを選択する表示になります。



[停止中／一時停止中のクイックメニュー表示]

3. DATAダイヤルを回してマイク入力ゲインを選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押すとマイク入力ゲインが設定されます。
   QUICKボタンを押すと、元の画面に戻ります。

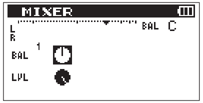
メモ

マイク入力ゲインをクイックメニューにて変更した場合は、**“INPUT SETTING”** 画面の **“GAIN”** 項目も変更されます。

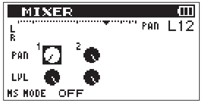
本機には、左右の定位、音量バランスを、各チャンネルごとに設定できるミキサー機能があります。

ミキサーを設定する

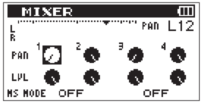
1. ホーム画面表示中にMIXERボタンを押して、**"MIXER"** 画面を表示します。



[モノラル／デュアルモノラルモード時]

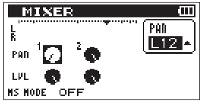


[ステレオ／デュアルステレオモード時]



[4チャンネルモード時]

2. DATAダイヤルを回して、変更したい項目を選択（反転表示）します。
3. DATAダイヤルを押すと、右上に設定項目名と設定値がポップアップ表示されます。



4. DATAダイヤルを回して、設定値を変更します。

項目	選択肢	動作内容
PAN	L12〜C〜R12	左右のバランス調整を行います。 （L12：左〜C：中央〜R12：右）
LVL	0〜100	音量バランスの調整を行います。 （0：最小〜100：最大）
MS MODE	OFF	通常モードでの録音を行います。
	REC	デコードしながら録音するときに使用するモードです。 再生は、通常の再生を行います。
	MON	あとからデコードする目的でMSマイクの出力をデコードせずに録音するとき、録音時にモニターする場合に使用するモードです。 すでにデコードせずに録音したファイルをデコードして再生する場合にも使用します。

5. DATAダイヤルを押すと元の場所へ戻り、次に設定値を変更したい場所を選択できる状態になります。

メモ

- 停止時、一時停止中、再生中、録音待機中、録音中のいずれの時も、操作が可能です。
- **"MIXER"** 画面表示中も、**再生(►)**ボタンでの再生、**停止(■)[HOME]** ボタンでの再生一時停止が可能です。
- **"MS MODE"** 項目が変更された場合は、**"REC MODE"** 画面の **"MS MODE"** 項目も変更されます。
- 録音中は、**"MS MODE"** 項目の変更できません。

MSデコーダーを使用する

MSマイクを使用して録音する場合は、入力音をデコードしながら録音する方法とデコードせずに録音し、再生時にデコードする方法があります。ここではCH1/2を例に挙げて説明しますが、CH3/4にMSマイクを接続する場合はCH1/2をCH3/4にそれぞれ読み替えてください。

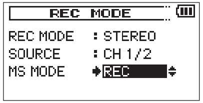
入力音をデコードしながら録音する方法

1. **1/L**端子と**2/R**端子にMSマイクを接続します。
   MSマイクのMid側を**1/L**端子に、Side側を**2/R**端子にそれぞれ接続してください。
   MidとSideを逆に接続すると正しくデコードすることができません。
2. **"REC MODE"** 画面で **"REC MODE"** 項目を **"STEREO"**、**"DUAL ST"**、**"4CH"** のいずれかを選択し、**"SOURCE"** 項目で **"CH1/2"** を選択します。

メモ

"REC MODE" 画面で**"4CH"** 項目を選択した場合は、**"SOURCE"** 項目が表示されませんので、選択の必要がありません。

3. **"MS MODE"** 項目を **"REC"** に設定します。
   "REC MODE" 画面で**"4CH"** 項目を選択した場合は **"MS MODE 1/2"** 項目を **"REC"** に設定します。



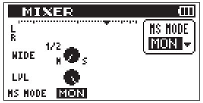
4. 録音操作を行うと、デコードされた信号が録音されます。

メモ

上記方法と、**"MIXER"** 画面で **"MS MODE"** 項目を **"REC"** に設定することでも設定可能です。

再生音をデコードする方法

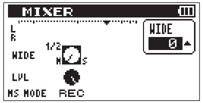
1. MSマイクを使い、**"MS MODE"** 項目を **"OFF"** にして録音したファイルを選択します。
2. ホーム画面表示中に**MIXER**ボタンを押して、**"MIXER"** 画面を表示します。
3. **"MS MODE"** 項目を **"MON"** に設定します。



4. 再生操作を行うと、デコードしながら再生します。

MSデコーダーの設定

"MIXER" 画面の **"MS MODE"** 項目を **"REC"** または **"MON"** に設定すると、**"PAN"** 項目が **"WIDE"** 項目に変更され音の広がり具合を調節することができます。
録音時にデコードする場合は、録音待機中に **"MIXER"** 画面を表示させてください。
入力側にデコーダーを使用しているときは **"MS MODE"** 項目を **"REC"**、再生側に使用している場合は **"MON"** に設定します。

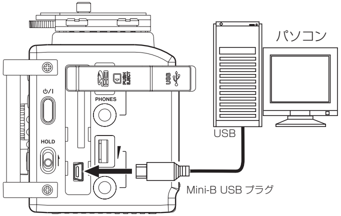


項目	設定範囲	動作内容
WIDE	0〜100	音の広がり具合を調節します。

"0" でMidが100%となり、数字が大きいほどSideの割合が大きくなります。

本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続することで、本機のSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。
本機で取り扱うことができる音声ファイル形式は、以下の通りです。

WAV　：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
BWF　：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット



メモ

- 本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。
- WAV ／ BWFファイルの拡張子は、どちらも《**.wav**》となります。

注意

- USBを接続し **"STORAGE"** を選択（反転表示）した場合は、本機の操作はできません。
- パソコンとの接続は、ハブを経由せずに直接接続してください。

電源がオンのときにUSB接続すると、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで供給するか、パソコンとUSB接続するかを選択する **"USB SELECT"** 画面が表示されます。

DATAダイヤルを回して **"STORAGE"** を選択（反転表示）し、DATAダイヤルを押すと本機がパソコンに接続され、ディスプレーに **"USB connected"** が表示されます。

本機にSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

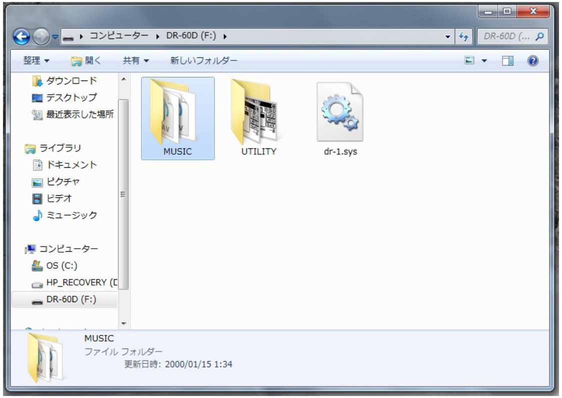
メモ

電池をセットした状態でUSB接続した場合は、USBから電源が供給されます。（USBバスパワー優先）

SDカードが正しく挿入されていない状態でUSB接続を行うと、ポップアップメッセージ **"Can't Save Data"** が表示されます。
パソコンのディスプレー上に、本機が《**DR-60D**》というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレー上の《DR-60D》ドライブをクリックすると、《MUSIC》フォルダーと《UTILITY》フォルダーが表示されます。
2. 《MUSIC》フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。



パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレー上の《DR-60D》ドライブをクリックすると、《MUSIC》フォルダーと《UTILITY》フォルダーが表示されます。
2. パソコンの任意の音声ファイルを《MUSIC》フォルダーにドラッグ&ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、《MUSIC》フォルダー内を管理することができます。
- 《MUSIC》フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダー内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくと便利です。
- サブフォルダーや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上や“**BROWSE**”画面上に表示されます。

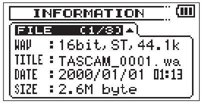
パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。
シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

情報を見る（INFORMATION）

"INFORMATION" 画面で、本機の各種情報を見ることができます。
以下の手順で **"INFORMATION"** 画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して **"OTHERS"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押して **"OTHERS"** 画面を表示します。
3. DATAダイヤルを回して **"INFORMATION"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。



"INFORMATION" 画面の **"FILE (1/3)"** ページが表示されます。
"INFORMATION" 画面には、以下のページがあります。

4. DATAダイヤルを回して、ページを切り換えるます。
各ページには、以下の情報が表示されます。

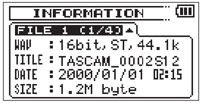
FILE (1/3)ページ
　現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示

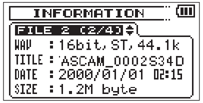
CARD (2/3)ページ
　セットしているSDカードの使用状況を表示

SYSTEM (3/3)ページ
　本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

メモ

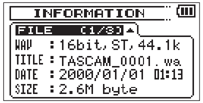
現在ロードされているオーディオファイルがデュアル録音や4ch録音された複数ファイルの場合は、FILEページが2ページとなります。





ファイル情報ページ（FILE）

"FILE (1/3)" ページでは、現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示します。



WAV ／ BWF

オーディオファイルの形式を表示します。
WAV ／ BWFファイルの場合は、ビット長、ステレオ／モノラル、サンプリング周波数（Hz）を表示します。

TITLE

ファイル名を表示します。

DATE

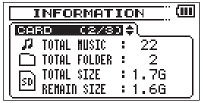
ファイルの日付を表示します。

SIZE

ファイルサイズを表示します。

カード情報ページ（CARD）

“CARD (2/3)” ページでは、挿入しているSDカードの使用状況を表示します。



TOTAL MUSIC

MUSICフォルダー内にある再生可能なファイル数を表示します。

TOTAL FOLDER

MUSICフォルダー内にあるフォルダー数を表示します。

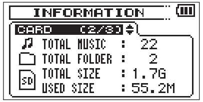
TOTAL SIZE

SDカードの総メモリー容量を表示します。

REMAIN SIZE ／ USED SIZE

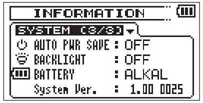
SDカードの残容量／使用量を表示します。

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、表示が **“REMAIN SIZE”** と **“USED SIZE”** に交互に切り換わります。



システム情報ページ（SYSTEM）

“SYSTEM (3/3)” ページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。



AUTO PWR SAVE

電源のオートパワーセーブ機能の設定時間を表示します。

BACKLIGHT

バックライトのオートオフ設定を表示します。

BATTERY

使用する電池の種類の設定を表示します。

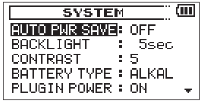
System Ver.

システムファームフェアのバージョン情報を表示します。

環境設定（SYSTEM）

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、および本機の初期化やSDカードのフォーマットなどを、**"SYSTEM"**画面で行います。
以下の手順で**"SYSTEM"**画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**"OTHERS"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶Iボタンを押して**"OTHERS"**画面を表示します。
3. DATAダイヤルを回して**"SYSTEM"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは▶▶Iボタンを押します。
   "SYSTEM"画面が表示されます。



"SYSTEM"画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。
I◀◀ボタンと▶▶Iボタン、およびDATAダイヤルを使って、各項目の設定をします。

電源のオートパワーセーブ機能の設定

"AUTO PWR SAVE"項目で最後に動作、あるいは操作してから自動的に電源がオフ（スタンバイ状態）になるまでの時間を設定します。

選択肢：""OFF"（自動オフしない、初期値）、**"3min"**（分）、**"5min"**（分）、**"10min"**（分）、**"30min"**（分）

バックライトの設定

"BACKLIGHT"項目で電池供給のときに、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢：""OFF"（消灯）、**"5sec"**（秒、初期値）、**"10sec"**（秒）、**"15sec"**（秒）、**"30sec"**（秒）、**"ALWAYS"**（常に点灯）

ディスプレーのコントラスト調節

"CONTRAST"項目でディスプレーのコントラストを調節します。

選択肢：""1"～**"20"**（初期値：**"5"**）

電池の種類の設定

"BATTERY TYPE"項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

選択肢：""ALKAL"（アルカリ乾電池、初期値）、**"Ni-MH"**（ニッケル水素電池）

ファントム電源の電圧値の設定

"PHANTOM VOLT"項目で、ファントム電源を必要とする外部マイクを接続して使用するときの供給電源電圧値を設定します。

選択肢：""+24V"、**"+48V"**（初期値）

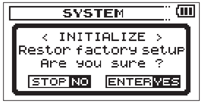
メモ

"+48V"に設定した場合、**"+24V"**よりも電池の消耗が早くなります。

初期設定に戻す

"INITIALIZE" 項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。

1. DATAダイヤルを回して **"INITIALIZE"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押すと **"Exec"** が反転表示します。
2. DATAダイヤルを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

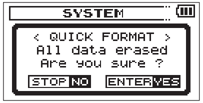


3. DATAダイヤルを押して、イニシャライズを実行します。
   イニシャライズしない場合は、**停止(■)[HOME]** ボタンを押します。

クイックフォーマットする

"QUICK FORMAT" 項目で、SDカードをクイックフォーマットします。
クイックフォーマットを行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、《**MUSIC**》フォルダー、《**UTILITY**》フォルダーおよび《**dr-1.sys**》が自動生成されます。

1. DATAダイヤルを回して **"QUICK FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押すと **"Exec"** が反転表示します。
2. DATAダイヤルを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

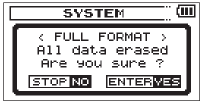


3. DATAダイヤルを押して、クイックフォーマットを実行します。
   クイックフォーマットしない場合は、**停止(■)[HOME]** ボタンを押します。

フルフォーマットする

"FULL FORMAT" 項目で、SDカードをフルフォーマットします。
フルフォーマットを行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、《**MUSIC**》フォルダー、《**UTILITY**》フォルダーおよび《**dr-1.sys**》が自動生成されます。
フルフォーマットでは、メモリーのエラーを確認しながらフォーマットを実行するため、クイックフォーマットと比べて多くの時間がかかります。

1. DATAダイヤルを回して **"FULL FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押すと **"Exec"** が反転表示します。
2. DATAダイヤルを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



3. DATAダイヤルを押して、フルフォーマットを実行します。
   フルフォーマットしない場合は、**停止(■)[HOME]** ボタンを押します。

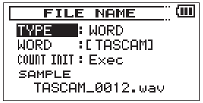
注意

フォーマットの実行は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。
フォーマット中に電池切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイル名の形式を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**"OTHERS"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押して**"OTHERS"**画面を表示します。
3. DATAダイヤルを回して**"FILE NAME"**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
   "FILE NAME"画面が表示されます。



I◄◄ ボタンと ►►I ボタン、およびDATAダイヤルを回して各項目の設定をします。
この画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

ファイル名の形式

"TYPE"項目で、**"WORD"**か**"DATA"**かを設定します。

選択肢："WORD"**（初期値）、**"DATE"**

WORD：**"WORD"**で設定した6文字をファイル名に付けます。
（例）TASCAM_0001S12.wav

DATE：日付をファイル名に付けます。
（例）110101_0000.wav

メモ

日付は、本体内の時計を元に設定されます。（ → 37ページ「日時を設定する」）

文字（WORD）の設定

"WORD"項目で、I◄◄ ボタンと ►►I ボタンでカーソルを移動し、DATAダイヤルを回して文字を設定します。
文字は、英数の他に、記号「! # $ % & ' ( ) + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~」が使用可能です。

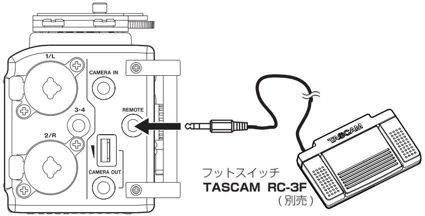
数字（COUNT）の初期化設定

"COUNT INIT"項目で、DATAダイヤルを押して実行すると、この以降のファイル作成時より、**"WORD"**項目で設定した文字に続く数字部分が、**"0001"**から始まります。

第11章　REMOTE端子を使う

本機には、**REMOTE**端子が用意されています。
別売の専用フットスイッチ型リモートコントローラー（TASCAM RC-3F）または別売の専用ワイヤードリモコン（TASCAM RC-10）を接続して、本機を操作することができます。

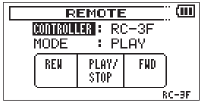
フットスイッチを使う（TASCAM RC-3F）



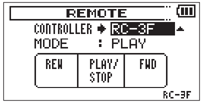
フットスイッチを設定する

"REMOTE"設定画面で、フットスイッチの設定を行います。

1. **MENU**ボタンを押して、**"MENU"**画面を表示します。
2. **DATA**ダイヤルを回して**"OTHERS"**項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは**▶▶I**ボタンを押して**"OTHERS"**画面を表示します。
3. **DATA**ダイヤルを回して**"REMOTE"**項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは**▶▶I**ボタンを押して**"REMOTE"**設定画面を表示します。



4. **DATA**ダイヤルを回して**"CONTROLLER"**項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは**▶▶I**ボタンを押します。
5. **"CONTROLLER"**項目を**DATA**ダイヤルを回して、**"RC-3F"**を選択します。（初期値：RC-3F）



6. **I◀◀**ボタンと**DATA**ダイヤルを使って**"MODE"**項目を選択（反転表示）し、**DATA**ダイヤルまたは**▶▶I**ボタンを押します。
7. **"MODE"**項目を**DATA**ダイヤルを回して変更します。

選択肢："PLAY"（初期値）、**"RECORD1"**、**"RECORD2"**、**"RECORD3"**、**"REVIEW"**

MODE	フットスイッチ		
	L	C	R
PLAY	REW	PLAY ／ STOP	FWD
RECORD1	STOP	REC ／ PAUSE	INC
RECORD2	STOP	REC ／ PAUSE	MARK
RECORD3	STOP	REC ／ PAUSE	SLATE
REVIEW	FLASH	PLAY ／ STOP（押してる間再生）	FWD

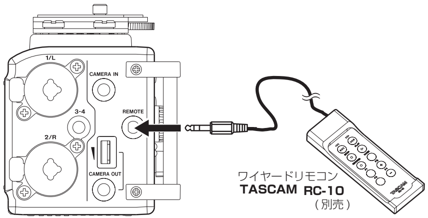
INC　：トラックインクリメント機能
MARK　：マーク機能
FLASH　：ジャンプバック再生
（上記以外は、本体機能と同じです）

8. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

フットスイッチを使う

フットスイッチの各ペダルを踏むと、**“REMOTE”**画面で割り当てられた動作を行います。

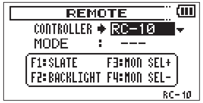
リモコンを使う（TASCAM RC-10）



リモコンを設定する

“REMOTE”設定画面で、リモコンの設定を行います。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. DATAダイヤルを回して**“OTHERS”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押して**“OTHERS”**画面を表示します。
3. DATAダイヤルを回して**“REMOTE”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押して**“REMOTE”**設定画面を表示します。
4. DATAダイヤルを回して**“CONTROLLER”**項目を選択（反転表示）し、DATAダイヤルまたは ►►I ボタンを押します。
5. **“CONTROLLER”**項目をDATAダイヤルを回して、**“RC-10”**を選択します。（初期値：RC-3F）



6. 設定が終了したら、**停止(■)[HOME]** ボタンを押してホーム画面に戻ります。

リモコンを使う

リモコン（TASCAM RC-10）の各ファンクションボタン（F1～F4）を押すと、**“REMOTE”**設定画面で割り当てられた動作を行います。

各モードの詳細

MODE	ファンクションボタン			
	F1	F2	F3	F4
- - -	SLATE	Backlight Always ON ／ Backlight OFF	MonitorSelect ＋	MonitorSelect －

第12章　メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-60Dでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
File Name ERR	DIVIDEによりファイル名の文字数が200文字を超えました。DIVIDEを行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。DIVIDEを行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
Dup File Name	DIVIDEにより作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内に既に存在します。DIVIDEを行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。DIVIDEを行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
File Not Found	ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
Non-Supported	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、「第9章 パソコンと接続する」をご覧ください。
Battery Empty	電池の残量がありません。電池を交換してください。
MBR Error Init CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で**DATA**ダイヤルを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
Format Error Format CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでFATフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。 フォーマットは、必ずDR-60D本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で**DATA**ダイヤルを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
File Not Found Make Sys File	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態で**DATA**ダイヤルを押すと、システムファイルが作られます。
Invalid SysFile Make Sys File	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常でありません。このメッセージが表示されている状態で**DATA**ダイヤルを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
Invalid Card Change Card	SDカードが正常でない可能性があります。SDカードを交換してください。
Write Timeout	SDカードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。
Card Full	SDカードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
Layer too Deep	フォルダーは、2階層までです。このフォルダー内に新たなフォルダーを作成することはできません。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内容と対処方法</th></tr>
<tr><td>Can't Divide</td><td>DIVIDE実行時に分割位置が適切でありません。（ファイルの先頭、ファイルの最後）</td></tr>
<tr><td>Max File Size</td><td>ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。</td></tr>
<tr><td>File Full</td><td>フォルダーとファイルの総数が制限値（5000個）を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。</td></tr>
<tr><td>Card Error</td><td>SDカードを正常に認識できません。カードを交換してください。</td></tr>
<tr><td>File Protected</td><td>読み取り専用ファイルのため、削除できません。</td></tr>
<tr><td>No Card</td><td>SDカードがセットされていません。録音可能なSDカードを挿入してください。</td></tr>
<tr><td>No PB File</td><td>再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。</td></tr>
<tr><td>No Audio File</td><td>再生ファイルが無いため、DIVIDEは実行できません。</td></tr>
<tr><td>Not Continued</td><td rowspan="16">これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。
電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を取り外す、またはＵＳＢバスパワー供給時はＵＳＢケーブルを外してください。
これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>File Error</td></tr>
<tr><td>Can't Save Data</td></tr>
<tr><td>Player Error</td></tr>
<tr><td>Device Error</td></tr>
<tr><td>Writing Failed</td></tr>
<tr><td>Sys Rom Err</td></tr>
<tr><td>Remote Cmd</td></tr>
<tr><td>Remote Rx</td></tr>
<tr><td>System Err 50</td></tr>
<tr><td>System Error 1</td></tr>
<tr><td>System Error 2</td></tr>
<tr><td>System Error 3</td></tr>
<tr><td>System Error 4</td></tr>
<tr><td>System Error 5</td></tr>
<tr><td>System Error 6</td></tr>
</table>

メッセージ	内容と対処方法
System Error 7 System Error 8 System Error 9	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。 電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を取り外す、またはＵＳＢバスパワー供給時はＵＳＢケーブルを外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。

第13章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

●電源が入らない。

↓

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違ってセットしていませんか？
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）の電源プラグおよびUSBコネクターがしっかりと差し込まれていますか？
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？

●本体で操作できない。

↓

- HOLDスイッチが矢印方向にセットされていませか？
- USB接続（USB Connected）になっていませんか？

●SDカードを認識しない。

↓

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

●再生できない。

↓

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。

●音が出ない。

↓

- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出力レベル設定が最小になっていませんか？

●録音できない。

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 入力レベルが低くなっていませんか？
- SDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

●入力レベルが低い。

↓

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

●録音しようとする音が歪んで聴こえる。

↓

- 入力レベルの設定が大きすぎませんか？

●再生音が不自然に聴こえる。

↓

- 再生イコライザーの設定状態を確認してください。
- レベルアライン機能が有効になっていませんか？

●ファイルが消去できない。

↓

- パソコンで読み取り専用に設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

●パソコン上に本機のファイルが表示されない。

↓

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

第14章　仕様

定格

記録メディア

SDカード（64MB ~ 2GB）
SDHCカード（4GB ~ 32GB）

録音再生フォーマット

WAV：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
BWF（Broadcast Wave Format）：
44.1k/48k/96kHz、16/24ビット

チャンネル数

4チャンネル（ステレオ x2）

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

1/L端子、2/R端子（ファントム電源対応）

コネクター：
XLR-3-31
（1：GND、2：HOT、3：COLD）
φ6.3mm（1/4”）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

入力切り換えスイッチ「**MIC**」時、「**MIC+PHANTOM**」時、
入力インピーダンス：2kΩ
ファントム電源 ：
48V±4V（10mA/CH）or 24V±4V（10mA/CH）
最大入力レベル ：0dBu
最小入力レベル ：−72dBu

マイク入力ゲイン（TRIM MAX時）
LOW ：+11dB
MID ：+36dB
HIGH ：+52dB

入力切り換えスイッチ「**LINE**」時
入力インピーダンス：10kΩ以上
基準入力レベル ：+4dBu
最大入力レベル ：+24dBu

3-4端子（プラグインパワー対応）

コネクター ：φ3.5mm（1/8”）ステレオミニジャック
入力インピーダンス：10kΩ
最大入力レベル ：+10dBV
最小入力レベル ：−50dBV
マイク入力ゲイン（TRIM MAX時）
LOW ：+3dB
HIGH ：+26dB

CAMERA IN端子

コネクター ：φ3.5mm（1/8”）ステレオミニジャック
入力インピーダンス：10kΩ
基準入力レベル ：−10dBV
最大入力レベル ：+6dBV

CAMERA OUT端子

コネクター ：φ3.5mm（1/8”）ステレオミニジャック
出力インピーダンス：200Ω
基準出力レベル ：−50dBV
最大出力レベル ：−30dBV

PHONES端子

コネクター ：φ3.5mm（1/8”）ステレオミニジャック
最大出力 ：50mW+50mW

LINE OUT 端子

コネクター　　　　：φ3.5mm（1/8”）ステレオミニジャック
出力インピーダンス：200Ω
基準出力レベル　　：−10dBV
最大出力レベル　　：+10dBV

注）
最大入力レベル：入力つまみを調整し、デジタルフルスケール（0dBFS）信号を歪まずに入力できるレベル
最小入力レベル：入力つまみを調整し、基準レベル（−20dBFS）信号を入力できるレベル

コントロール入出力定格

USB端子

コネクター：Mini-B タイプ
フォーマット：
USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

REMOTE端子

コネクター：φ2.5mmTRSジャック

オーディオ性能

周波数特性

20-20kHz +0.5/−2dB
（LINE IN or MIC IN to LINE OUT、Fs44.1k/48kHz、JEITA）
20-40kHz +0.5/−3dB
（LINE IN or MIC IN to LINE OUT、Fs96kHz、JEITA）

歪率

0.02%以下
（LINE IN or MIC IN to LINE OUT Fs44.1k/48k/96kHz、JEITA）

S/N比

92dB以上
（LINE IN or MIC IN to LINE OUT Fs44.1k/48k/96kHz、JEITA）

等価入力雑音

−120dBu以上

注）JEITA：JEITA CP-2150準拠

接続するパソコンの動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）ご確認ください。

Windowsマシン

Pentium 300MHz以上
128MB 以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

Macintoshマシン

Power PC、iMac、G3、G4 266MHz以上
64MB以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

推奨USBホストコントローラー

Intel製チップセット

サポートOS

Windows　：Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8
Macintosh：Mac OS X 10.2以上

一般

電源

単3形電池4本（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）
パソコンからのUSBバスパワー
専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U、別売）
専用外付けバッテリーパック（TASCAM BP-6AA、別売）

消費電力

5.4W（最大時）

電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約2時間30分	MIC＋PHANTOM（４８V）入力選択時
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約4時間30分	MIC入力選択（ファントム未使用）時

● ニッケル水素電池（eneloop）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約3時間15分	MIC＋PHANTOM（４８V）入力選択時
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約5時間	MIC入力選択（ファントム未使用）時

● ニッケル水素電池（eneloop pro）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約3時間45分	MIC＋PHANTOM（４８V）入力選択時
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約6時間	MIC入力選択（ファントム未使用）時

TASCAM BP-6AA（別売）使用時電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）+BP-6AA（EVOLTA）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約5時間30分	MIC＋PHANTOM（４８V）入力選択時
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約10時間30分	MIC入力選択（ファントム未使用）時

● ニッケル水素電池（eneloop）+BP-6AA（eneloop）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約7時間30分	MIC＋PHANTOM（４８V）入力選択時
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約12時間	MIC入力選択（ファントム未使用）時

● ニッケル水素電池（eneloop pro）+BP-6AA（eneloop pro）使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約9時間30分	MIC＋PHANTOM（４８V）入力選択時
2ch WAV、44.1KHz、16bitで録音	約14時間30分	MIC入力選択（ファントム未使用）時

メモ

ファントム電源を使用時には、ご使用になられるマイクにより持続時間が短くなる場合があります。

外形寸法

133 x 93.2 x 78mm（幅 x 高さ x 奥行き、上部アダプター取付状態）

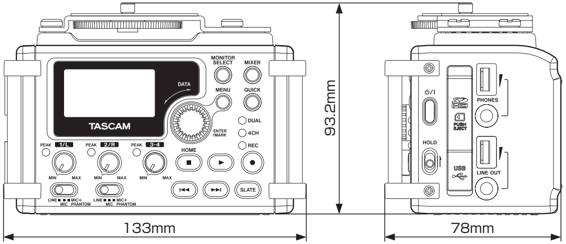
質量

510g（電池を含まず）

動作温度

0 ～ 40℃

寸法図



＊ 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

＊ 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ユーザー登録に関して

TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

ティアック株式会社

〒206-8530
東京都多摩市落合 1-47
http://tascam.jp/

Printed in China